



# 機能門柱FK

このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。  
製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためにも、各種表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容および指示にしたがってください。

## ■本書の見かた

この取付説明書では、以下のような記号、記載、アイコンを使用しています。

### ■安全に関する記号と説明



警告

・取付けを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。



注意

・取付けを誤った場合、使用者などが中程度の損傷・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。

### ■情報に関する記号と説明

施工上のお願い

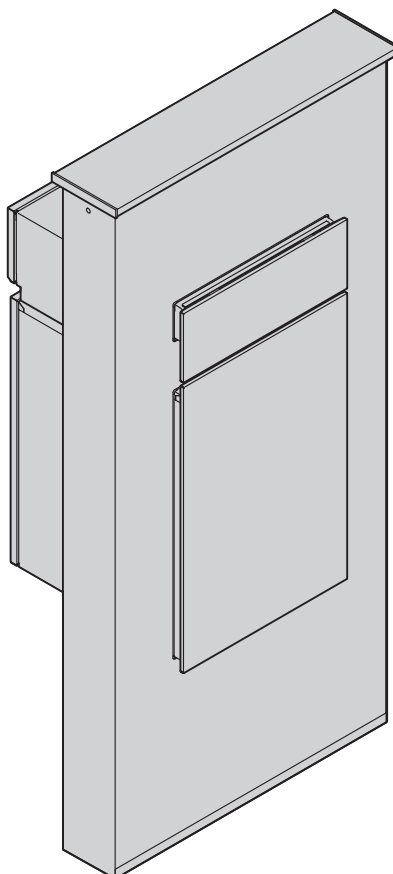
・取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。  
・守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

補 足

・説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

### ■ねじ等の締結部品の記号

ねじやナット等の締結部品を記号で示してます。(例：1a、1b、2a等)  
締結部品の種類は「**梱包明細表**」を参照してください。



## 施工の前に

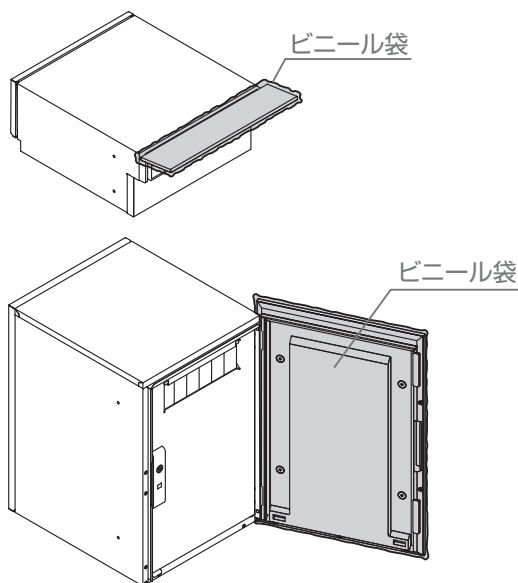
### 注意



- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。

### 施工上のお願い

- ポストと宅配ボックスの取出し口蓋には、養生用のビニール袋が取付いています。キズ防止のため、施工完了までは外さないでください。



- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。
- トランス電源ユニット（屋外用）を使用する場合の取付けおよび詳細については、トランス電源ユニットに付属の取付説明書を参照ください。
- 本体に貼り付けている養生シートは施工後に剥がしてください。

## 施工上のご注意

### 注意



- textoneタイプの場合は重量物になりますので、運搬、施工は2名以上でおこなってください。
- ボルト、ねじは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の強度低下、またはケガの原因になりますので、ボルト、ねじは弊社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
  - ※φ2ねじ:  
0.5N・m±0.1N・m(5.0±1kgf・cm)
  - ※φ3ねじ:  
1.0N・m±0.2N・m(10±2kgf・cm)
  - ※φ4ねじ:  
2.5N・m±0.5N・m(25±5kgf・cm)
  - ※φ5ねじ:  
3.0N・m±0.5N・m(30±5kgf・cm)

### 施工上のお願い

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
- ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
- ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
- ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
- ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
- ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
- ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。

## 基礎工事について

### ⚠ 注意

- 基礎は弊社指定の寸法以上にしてください。強度低下の原因になります。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
- 養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。

### 施工上のお願い

- モルタルやコンクリートの抽出液が、施工中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

## 電気配線工事について

### ⚠ 警告

- AC100Vの電線の埋設工事、配線作業に関しては、電気工事店の有資格者に依頼してください。故障や漏電した場合に感電するおそれがあります。
- 当社製トランス電源ユニット・電源ケーブルと組合わせて使用してください。他製品を使用した場合に故障や不具合の原因になります。
- コネクタを切断するなどの加工は行わないでください。故障・感電の原因となります。
- 施工作业中は通電させないでください。故障・感電のおそれがあります。

### 施工上のお願い

- 各種照明を取付ける場合には「入切スイッチ」を別途設けてください。「入切スイッチ」を設けないとお手入れの際、夜間照明を消したい場合に電源をOFFにできません。「入切スイッチ」は現場で別途手配してください。
- 「入切スイッチ」にパイロットスイッチを使用すると、「入切スイッチ」をONにしても照明が消灯状態のときはパイロットスイッチ表示が点灯しません。
- 照明用配線とIH信号線はPF管により隔離してください。
- 照明用配線にはVVFφ1.6の単線2芯を、インターホン子機用信号はVCTF0.75mm2のより線またはφ1.0単線2芯を、準備してください。
- 機器に接続する電圧、極性を間違えないでください。故障の原因になります。

# チェックリスト

※下記項目は重要事項ですので必ず点検してください。

## ●ねじ締め

No.	ページ	チェック内容	
1	21	ポストの投函フタを取り付ける際にねじはトルク 0.8N・m で取付け、ゆるみがないことを確認しましたか。	<input type="checkbox"/>
2	19 21	ポスト・宅配ボックスは【1e】、【2e】、【6j】ねじを使用して推奨トルクで取付け、ゆるみがないことを確認しましたか。	<input type="checkbox"/>
3	32~35	囲い用フレーム角キャップは【4a】、【5b】、【6h】ねじを使用して、取付位置調整し、最後に【4c】、【5c】、【6i】ねじを使用して位置決めおよび推奨トルクで取付け、ゆるみがないことを確認しましたか。	<input type="checkbox"/>

## ●配線

No.	ページ	チェック内容	
1	31 33 35	笠木を載せる際、配線を挟んでいないか確認しましたか。	<input type="checkbox"/>









## ●水平・垂直






No.	ページ	チェック内容	
1	12~17	本体および、ロングフレーム用サブ柱、は垂直に設置されていますか？	<input type="checkbox"/>
2	17	ロングタイプの 笠木は水平に設置されていますか？	<input type="checkbox"/>








## ●部材納まり

No.	ページ	チェック内容	
1	33 35	囲い用フレーム角キャップと囲い用笠木、ロングフレーム用笠木および囲い用外柱カバーは隙間がないように取り付けられていますか？	<input type="checkbox"/>
2	31 33 35	各種笠木は押し上げて浮き上がらないように、道路側で形材ツメの引っ掛けをされていますか？	<input type="checkbox"/>

# 梱包明細表

【1】 壁本体セット (ポスト仕様)			
名 称	略 図	員 数	
本体		1	
【1a】 φ4×20トラスタッピンねじ3種		4	
【1b】 M4用六角ナット		8	
【1c】 M6用六角ナット		4	
【1d】 M4×20サラ小ねじ D=6		2	
【1e】 φ5×16トラスタッピンねじ3種(ワッシャー組み込み)		4	
隙間パッキン ポスト下面用		1	
結束バンド		1	
取付説明書<EXM-139>	-	1	
取扱説明書<EXM-140>	-	1	

【3】 フレーム 標準タイプ			
名 称	略 図	員 数	
笠木ベース		1	
笠木		1	
笠木キャップ		2	
【3a】 φ4×15ナベタッピンねじ2種(G=3)		4	
【3b】 φ4×10特サラタッピンねじ3種(D=6)		5	

【2】 壁本体セット (ボックスセット仕様)			
名 称	略 図	員 数	
本体		1	
【2a】 φ4×20トラスタッピンねじ3種		4	
【2b】 M4用六角ナット		8	
【2c】 M6用六角ナット		4	
【2d】 M4×20サラ小ねじ D=6		2	
【2e】 φ5×16トラスタッピンねじ3種(ワッシャー組み込み)		8	
結束バンド		1	
取付説明書<EXM-139>	-	1	
取扱説明書<EXM-140>	-	1	

# 梱包明細表

【4】 フレーム 3面囲いタイプ		
名称	略図	員数
笠木ベース		1
囲い用外柱カバー(下) ※		2
囲い用外柱カバー(上)		2
囲い用笠木		1
囲い用外柱カバー連結部品		2
囲い用フレーム角キャップ		2
【4a】 φ4×15ナベタッピンねじ2種(G=3)		8
【4b】 φ4×16サラタッピンねじ2種(G=5) (D=8)		4
【4c】 φ4×13ナベドリルねじ		4
【4d】 φ4×10ナベタッピンねじ3種		4
【4e】 φ4×10サラタッピンねじ3種 (D=6)		3

※ 員数2個の内1個には埋込み位置指示シールが貼られています。

【5】 フレーム ロングタイプ		
名称	略図	員数
囲い用外柱カバー(下)		1
サブ柱		1
笠木ベース		1
笠木		1
囲い用外柱カバー(上)		1
囲い用外柱カバー連結部品		1
囲い用フレーム角キャップ		1
ロングフレーム角キャップ		1
ロングフレーム角固定金具		1
【5a】 φ4×10ナベタッピンねじ3種		2
【5b】 φ4×15ナベタッピンねじ2種(G=3)		6
【5c】 φ4×13ナベドリルねじ		2
【5d】 φ4×16サラタッピンねじ2種(G=5) (D=8)		2
【5e】 φ4×10サラタッピンねじ3種 (D=6)		8

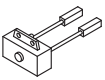
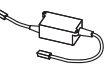


【6】 壁本体セット textoneタイプ		
名称	略図	員数
本体		1
囲い用笠木		1
笠木ベース		1
囲い用外柱カバー連結部品		2
囲い用フレーム角キャップ		2
【6a】 M4×40特サラ小ねじ D=6		2
【6b】 φ4×10ナベタッピンねじ3種		4
【6c】 φ4×10特サラタッピンねじ3種(D=6)		3
【6d】 φ4×16サラタッピンねじ2種(G=5) (D=8)		4
【6e】 M4六角ナット		8
【6f】 φ4×30トラスタッピンねじ3種		4
【6g】 M6六角ナット		4
【6h】 φ4×15ナベタッピンねじ2種(G=3)		8
【6i】 φ4×13ナベドリルねじ		4
【6j】 φ5×16トラスタッピンねじ3種(ワッシャー組み込み)		8
取付説明書<EXM-139>	-	1
取扱説明書<EXM-140>	-	1

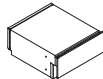





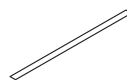
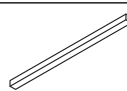

【7】 笠木照明 標準タイプ、3面囲いタイプ <b>オプション</b>		
名称	略図	員数
笠木照明 (標準タイプ)		1

【8】 笠木照明 ロングタイプ <b>オプション</b>		
名称	略図	員数
笠木照明 (ロングタイプ)		1

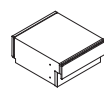


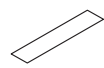

【9】 笠木照明 標準タイプ、3面囲いタイプ <b>オプション</b>		
名称	略図	員数
明るさセンサ		1
ACアダプター		1
明るさセンサ取付金具		1
【9a】 φ4×12トラスタッピンねじ3種		4
【9b】 φ4×10トラスタッピンねじ3種		2

# 梱包明細表

【10】 笠木照明 ロングタイプ		オプション	
名称	略図	員数	
明るさセンサ		1	
ACアダプター		1	
【10a】 φ4×12トラスタッピンねじ3種		2	
【10b】 φ4×10トラスタッピンねじ3種		2	

【11】 ボックスセットKN			
名称	略図	員数	
		右開き	左開き
エクスポストKN		1	1
宅配ボックスKN (右開き用)		1	—
宅配ボックスKN (左開き用)		—	1
郵便シール		2	2
宅配シール		2	2
バンポン 郵便ポスト用		2	2
隙間パッキン 郵便ポスト用		3	3
隙間隠しクッション材		2	2
キー		4	4
取扱説明書 <EXM-138>	—	1	1
取扱説明書 <EXM-136>	—	1	1
取付説明書 <EXM-137>	—	1	1
取付説明書 <EXM-135>	—	1	1

※郵便シールは投函フタ正面、宅配シールは外扉正面の任意の位置に貼ってください。

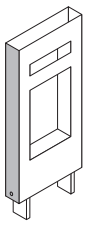
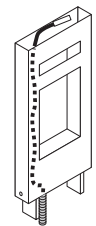
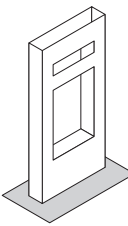
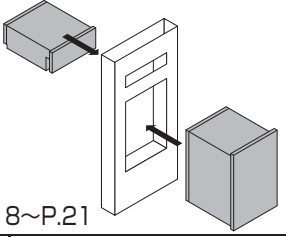
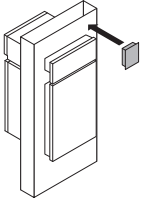
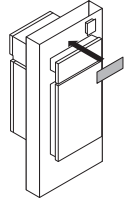
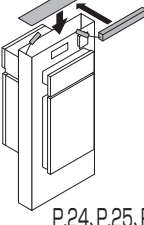
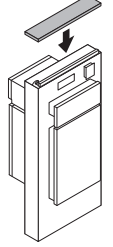
【12】 エクスポストKN 本体セット		
名称	略図	員数
ポスト本体		1
バンポン 郵便ポスト用		2
隙間パッキン 郵便ポスト用		3
片面プチルテープ		1
郵便シール		2
取扱説明書<EXM-138>	—	1
取付説明書<EXM-137>	—	1

※郵便シールは投函フタ正面の任意の位置に貼ってください。

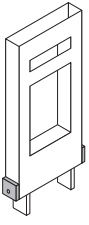
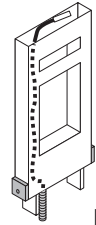
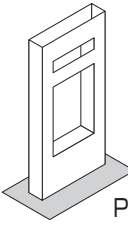
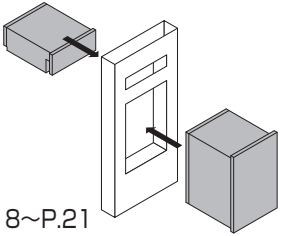
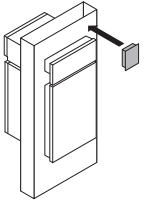
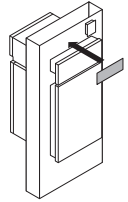
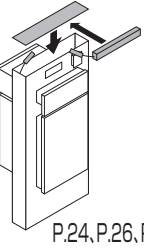
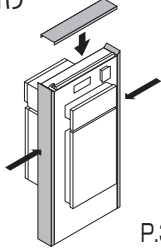


# 施工の流れ

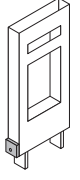
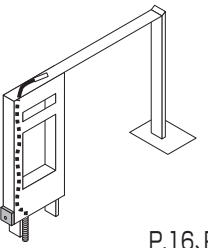
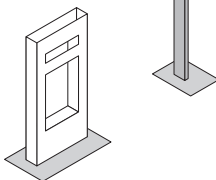
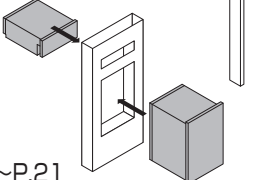
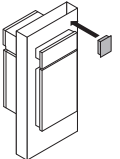
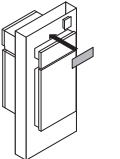
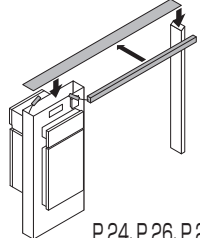
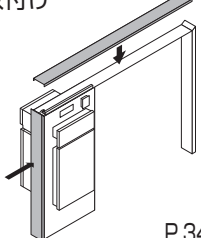
●標準タイプ ※インターホン、サイン、照明を取付けない場合は5、6、7は不要です。

<p><b>1</b> 水抜き穴加工</p>  <p>P.12</p>	<p><b>2</b> 配管・配線</p>  <p>P.12</p>	<p><b>3</b> 埋め込み</p>  <p>P.12</p>	<p><b>4</b> ポスト、宅配ボックスの取付け (ポスト取付時は投函フタを外す)</p>  <p>P.18~P.21</p>
<p><b>5</b> インターホンの取付け</p>  <p>P.22</p>	<p><b>6</b> サインの取付け</p>  <p>P.23</p>	<p><b>7</b> 照明の取付け</p>  <p>P.24,P.25,P.27,P.28</p>	<p><b>8</b> 笠木の取付け</p>  <p>P.31</p>

●3面囲いタイプ、textoneタイプ

<p><b>1</b> 水抜き穴加工 本体G.L.部の部材加工</p>  <p>P.13~P.15</p>	<p><b>2</b> 配線</p>  <p>P.13~P.15</p>	<p><b>3</b> 埋め込み</p>  <p>P.13~P.15</p>	<p><b>4</b> ポスト、宅配ボックスの取付け (ポスト取付時は投函フタを外す)</p>  <p>P.18~P.21</p>
<p><b>5</b> インターホンの取付け</p>  <p>P.22</p>	<p><b>6</b> サインの取付け</p>  <p>P.23</p>	<p><b>7</b> 照明の取付け</p>  <p>P.24,P.26,P.27,P.29</p>	<p><b>8</b> フレーム部材と笠木の取付け</p>  <p>P.32,P.33</p>

●ロングタイプ

<p><b>1</b> 水抜き穴加工 本体G.L.部の部材加工</p>  <p>P.16</p>	<p><b>2</b> 配線および本体の仮組み</p>  <p>P.16,P.17</p>	<p><b>3</b> 埋め込み</p>  <p>P.17</p>	<p><b>4</b> ポスト、宅配ボックスの取付け (ポスト取付時は投函フタを外す)</p>  <p>P.18~P.21</p>
<p><b>5</b> インターホンの取付け</p>  <p>P.22</p>	<p><b>6</b> サインの取付け</p>  <p>P.23</p>	<p><b>7</b> 照明の取付け</p>  <p>P.24,P.26,P.27,P.30</p>	<p><b>8</b> フレーム部材と笠木の取付け</p>  <p>P.34,P.35</p>

# 1 基本寸法と各部名称

## 施工上のお願い

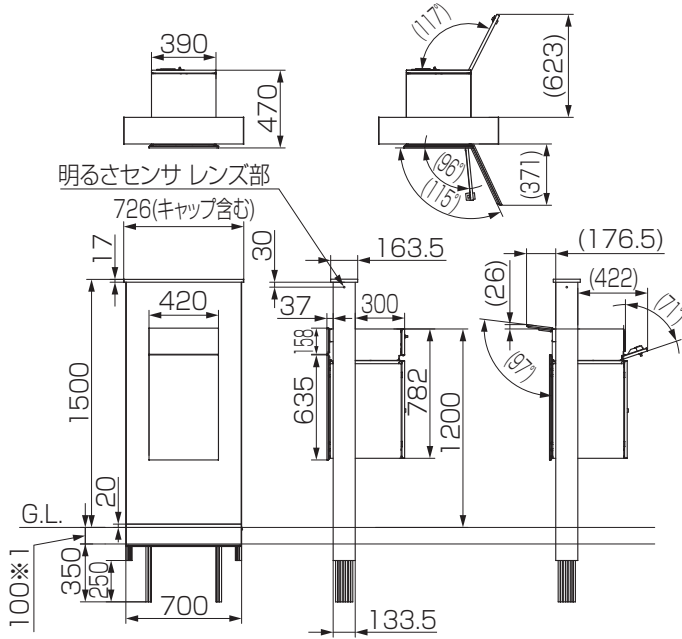
- 明るさセンサを取付ける場合は、障害物から明るさセンサのレンズ部分までの距離を500mm以上あけてください。障害物に近すぎると明るさ検知に影響を及ぼします。
- 3面囲いタイプ、textoneタイプに関しては、囲い用外柱カバー(上)を埋め込まない様にご注意ください。明るさセンサや木調ボードのメンテナンスができなくなります。

※1 植栽植込みとする場合の土、砂利等の厚さ。植栽植込みをしない場合は基礎コンクリートとすることも可能。この場合は基礎コンクリート深さは450mm(350mm+100mm)になります。

## 1-1 標準タイプ

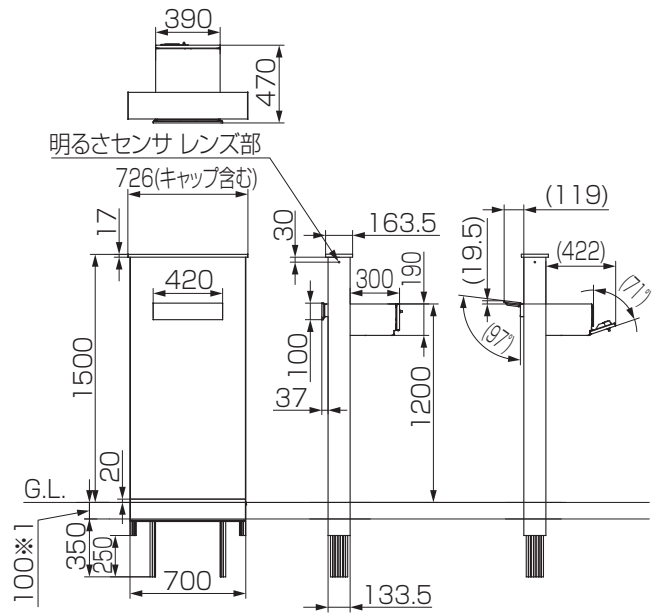
### ●ボックスセット仕様

- ※ 宅配ボックスは右開き仕様をあらわしています。
- ※ 図は製品右側に明るさセンサを取り付けた図になります。



### ●ポスト仕様

- ※ ポストは錠無仕様をあらわしています。錠付き仕様も同様になります。
- ※ 図は製品右側に明るさセンサを取り付けた図になります。

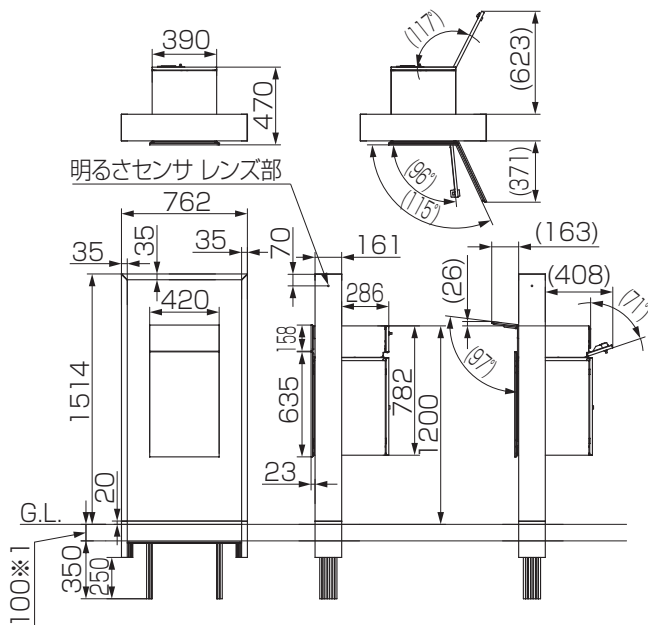


## 1-2 3面囲いタイプ・textoneタイプ

※textoneタイプはボックスセット仕様のみになります。

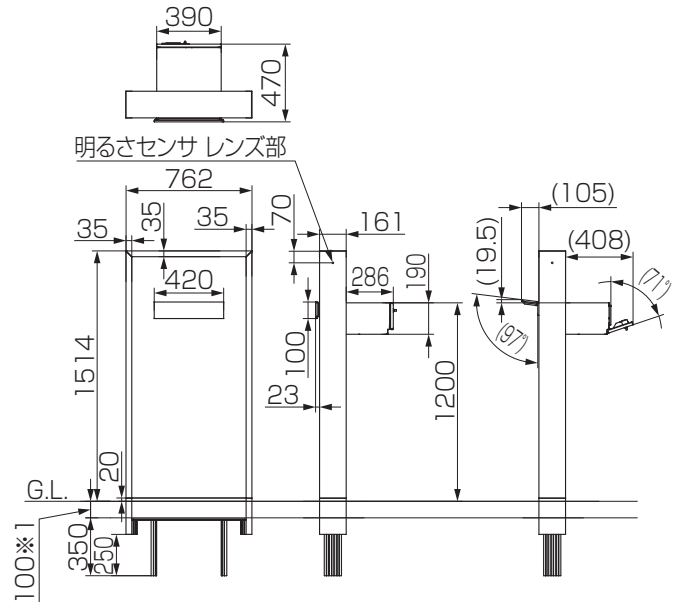
### ●ボックスセット仕様

- ※ 図は製品右側に明るさセンサを取り付けた図になります。



### ●ポスト仕様

- ※ ポストは錠無仕様をあらわしています。錠付き仕様も同様になります。
- ※ 図は製品右側に明るさセンサを取り付けた図になります。



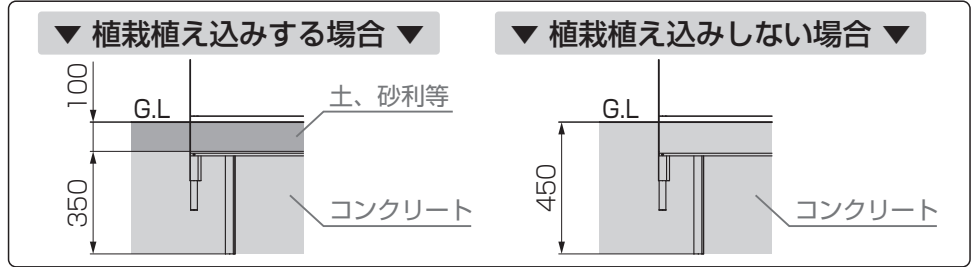


# 1 基本寸法と各部名称

## 施工上のお願い

- 囲い用外柱カバー(上・下)は笠木の延長方向と反対側の外柱に取付けとなります。
- 明るさセンサを取付ける場合は、サブ柱と反対側の本体側面(囲い用外柱カバー(上))のみに取付けられますが、障害物から明るさセンサのレンズ部分までの距離を500mm以上あけてください。障害物に近すぎると明るさ検知に影響を及ぼします。
- ロングタイプに関しては、囲い用外柱カバー(上)を埋め込まない様にご注意ください。明るさセンサや木調ボードのメンテナンスができなくなります。

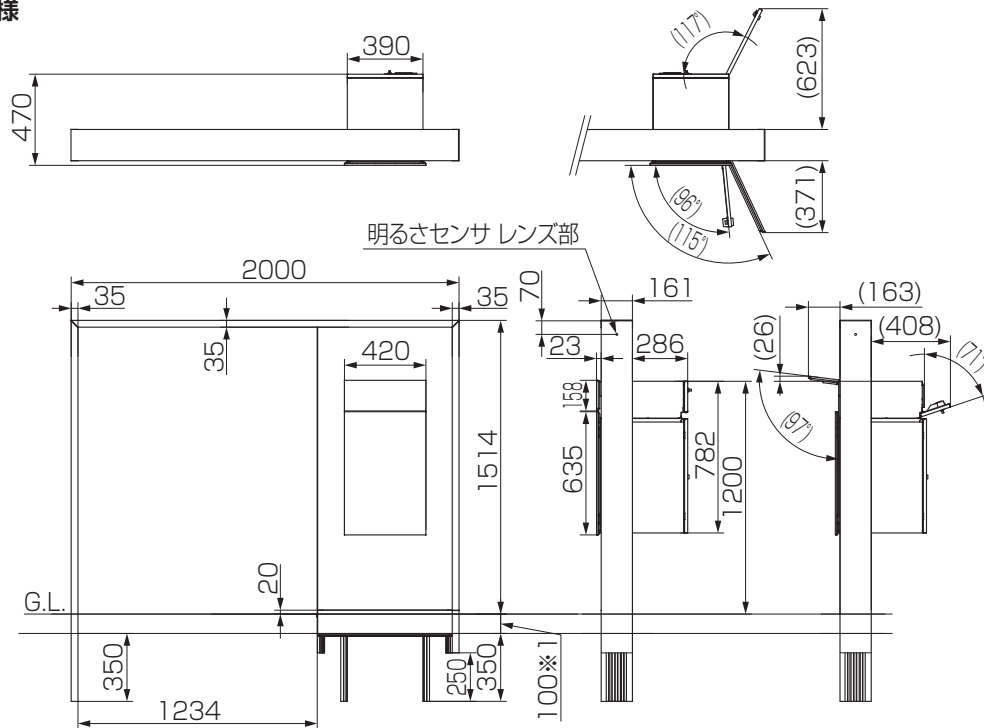
※1 植栽植込みとする場合の土の厚さ。植栽植込みをしない場合は基礎コンクリートとすることも可能。この場合は基礎コンクリート深さは450mm(350mm+100mm)になります。



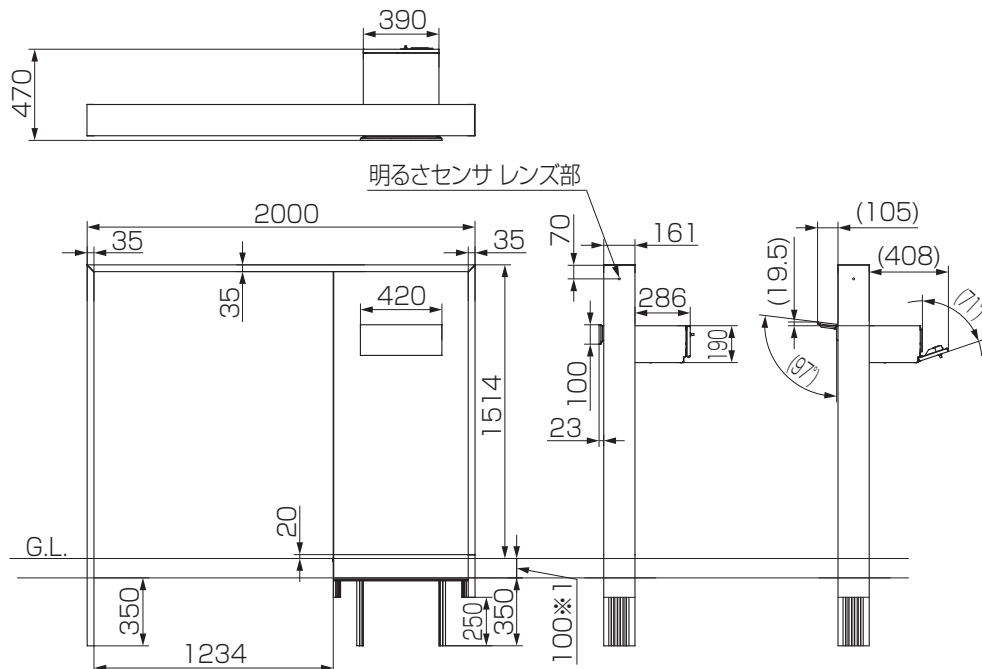
## 1-3 ロングタイプ

※ 下図は笠木の延長方向およびサブ柱を本体正面左側に配置させた場合になります。本体正面右側に配置させる場合は左右反転となります。

### ●ボックスセット仕様



### ●ポスト仕様



# 2 配線工事

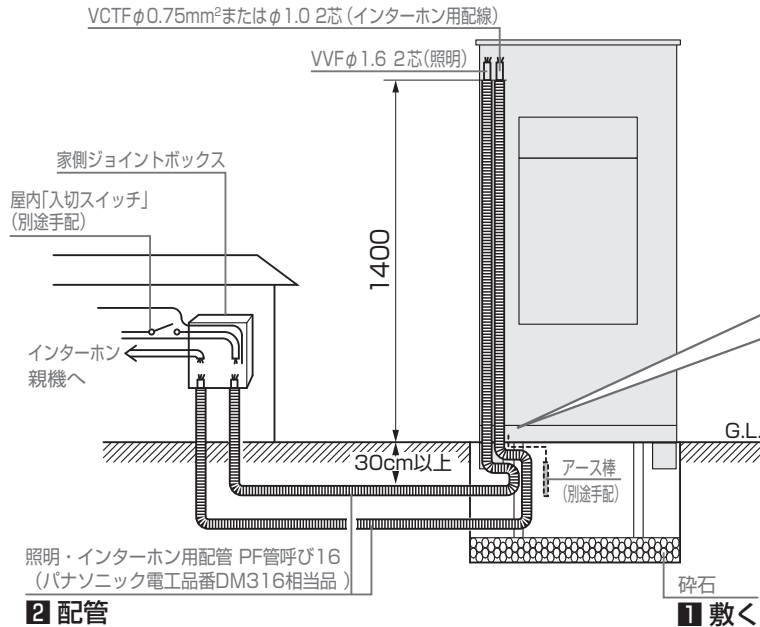
※インターホン・照明を取付ける場合

## 2-1 AC100V照明を取付ける場合、またはACアダプターを使用してDC12V照明を取付ける場合

- 1: 基礎穴を掘り、碎石を敷く
- 2: 照明およびインターホン用の配線を配管

### 施工上のお願い

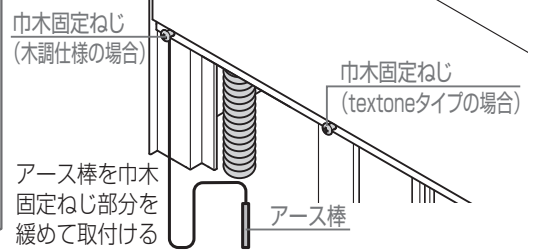
- 照明とインターホン用配線は、PF管により隔離してください。
- 屋内「入切スイッチ」は必ず設置してください。ランプ交換やお手入れの際に電源をOFFにできなくなります。
- 配管はG.L.よりも1400mm程度立上げ、パテ埋めなどでの処理を施してください。
- EEスイッチ等の自動点滅器は使用しないでください。使用すると正常に作動しない場合があります。



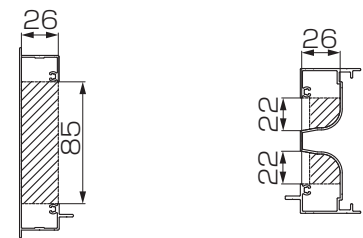
2 配管

1 敷く

- アース(D種接地工事)をとってください。



- 木調仕様のPF管を通す範囲
- textoneタイプのPF管を通す範囲

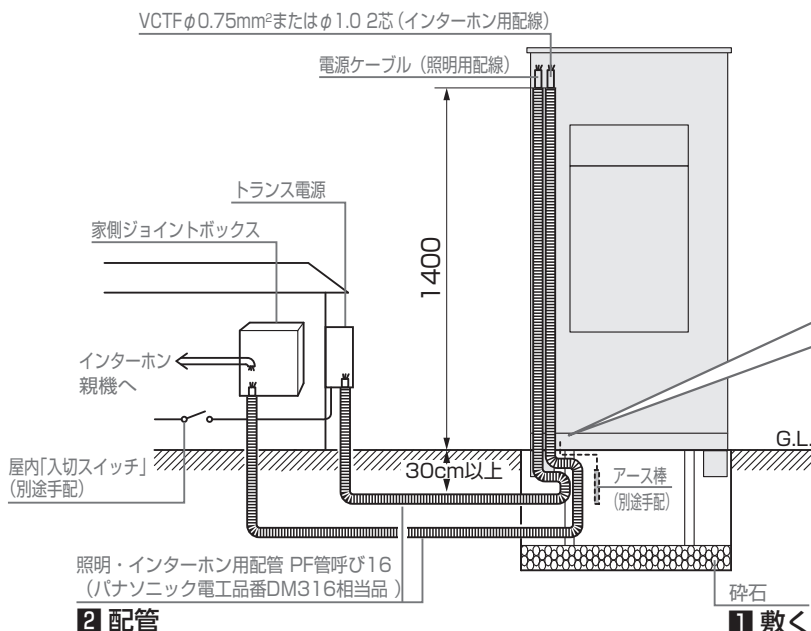


## 2-2 外部のトランス電源ユニットを使用してDC12V照明を取付ける場合

- 1: 基礎穴を掘り、碎石を敷く
- 2: 照明およびインターホン用の配線を配管

### 施工上のお願い

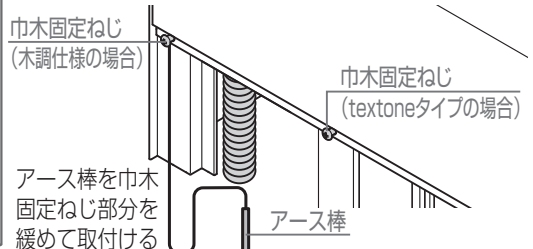
- 照明とインターホン用配線は、PF管により隔離してください。
- 屋内「入切スイッチ」は必ず設置してください。ランプ交換やお手入れの際に電源をOFFにできなくなります。
- 配管はG.L.よりも1400mm程度立上げ、パテ埋めなどでの処理を施してください。
- EEスイッチ等の自動点滅器は使用しないでください。使用すると正常に作動しない場合があります。



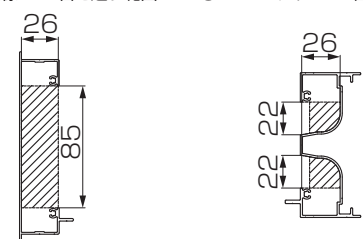
2 配管

1 敷く

- アース(D種接地工事)をとってください。

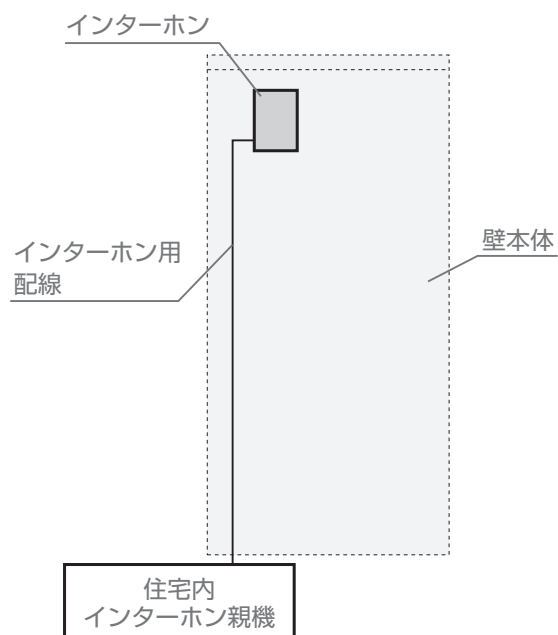


- 木調仕様のPF管を通す範囲
- textoneタイプのPF管を通す範囲



2-3 配線図

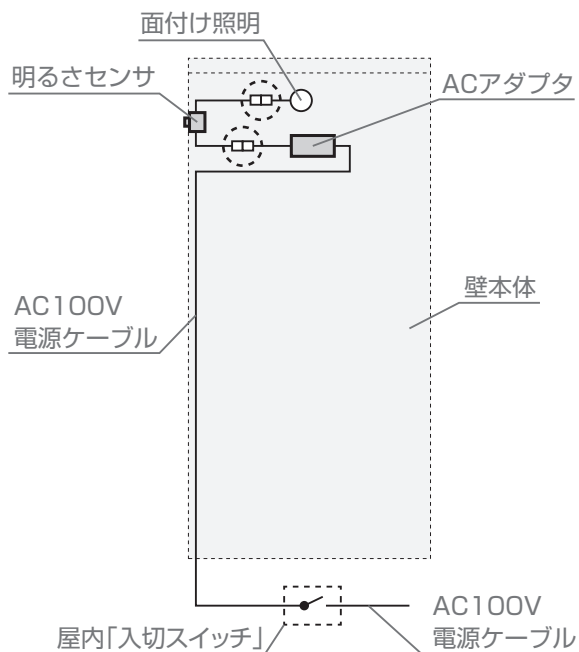
(1) インターホン



(2) 面付け照明

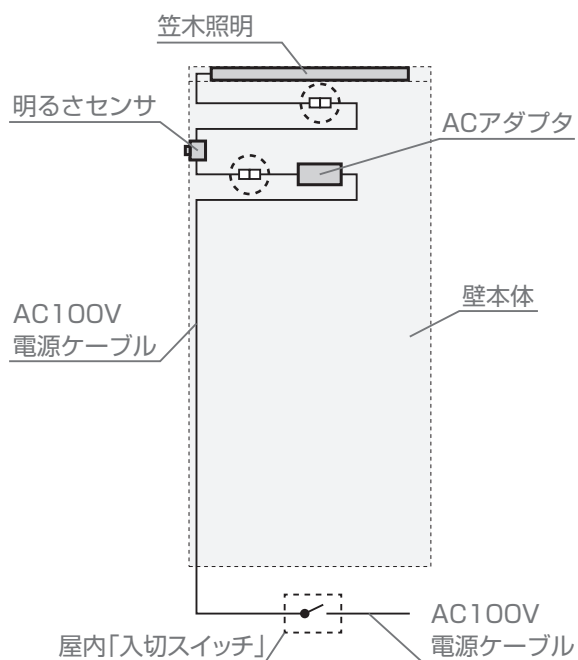
※外部のトランス電源ユニットを使用する場合は、下図のAC100V線はDC12V線となり、ACアダプタおよび明るさセンサは不要になります。

※AC100V照明の場合、下図のACアダプタおよび明るさセンサは不要になります。



(3) 笠木照明

※外部のトランス電源ユニットを使用する場合は、下図のAC100V線はDC12V線となり、ACアダプタおよび明るさセンサは不要になります。



# 3 本体の建込み・基礎の打設

## 3-1 標準タイプ

1: 外柱に水抜き穴(φ6)を部材下端から215mmの位置に加工

### 施工上のお願い

●水抜き穴は左右どちらの外柱でも加工可能です。

2: 針金が外柱にテープ止めされているので、現場手配のPF管と針金を括り付け

### 施工上のお願い

●明るさセンサが取付く側の外柱にPF管を通してください。

●明るさセンサを取付ける場合は、障害物から明るさセンサのレンズ部までの距離を500mm以上あけてください。障害物に近づくと明るさ検知に影響を及ぼします。

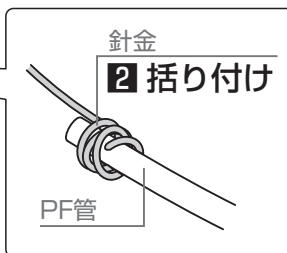
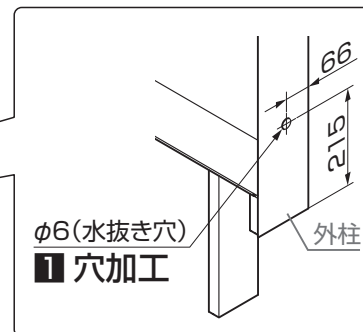
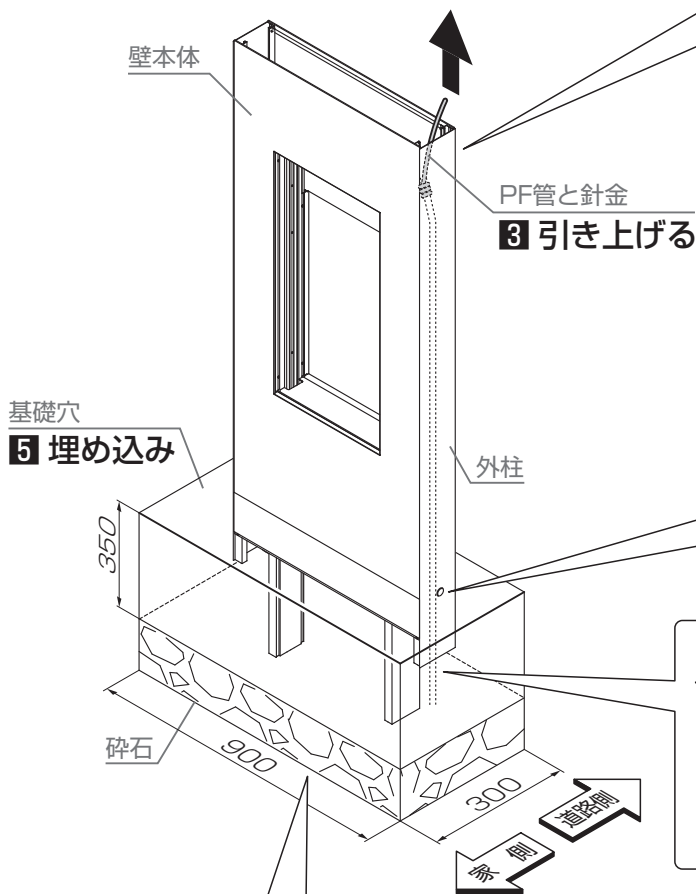
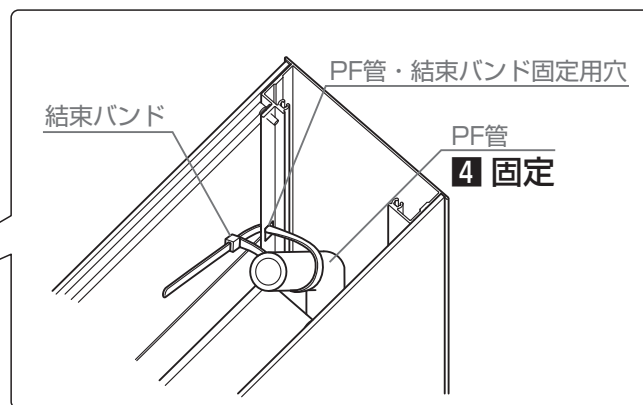
●針金は本体正面左側の外柱にテープ固定されています。PF管を正面右側の外柱に通す場合は、一度針金を取り外してから使用してください。

3: PF管2本(インターホン用、照明用)を針金を使用し、センターブロックまで引き上げる

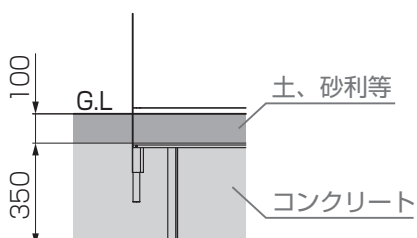
4: 結束バンドを外柱のPF管・結束バンド固定用穴に通しPF管を固定 ※PF管の引き抜き防止

5: 埋め込みを実施

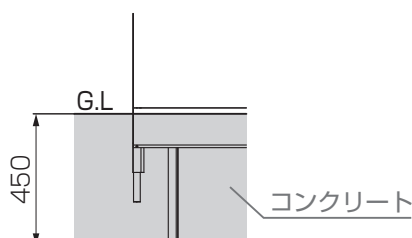
※道路側が表(ポスト、宅配ボックスの投函フタが見える面)になります。



### ▼ 植栽植え込みする場合 ▼



### ▼ 植栽植え込みしない場合 ▼



### 3 本体の建込み・基礎の打設

#### 3-2 3面囲いタイプ (木調本体仕様)

1: 外柱に水抜き穴(φ6)を部材下端から215mmの位置に左右1か所ずつ、および外柱に囲い用外柱カバー連結部品固定穴(φ3.5)を外柱上端から1457.5mmの位置に左右2か所ずつ、囲い用外柱カバー(下)に水抜き穴(φ6)を部材上端から5mmの位置に1か所加工

##### 施工上のお願

● 囲い用外柱カバー(下)の水抜き穴は左右どちらでも加工可能です。

2: 針金が外柱にテープ止めされているので、現場手配のPF管と針金を括り付け

##### 施工上のお願

- 明るさセンサが取付く側の外柱にPF管を通してください。
- 明るさセンサを取付ける場合は、障害物から明るさセンサのレンズ部までの距離を500mm以上あけてください。障害物に近づくと明るさ検知に影響を及ぼします。
- 針金は本体正面左側の外柱にテープ固定されています。PF管を正面右側の外柱に通す場合は、一度針金を取り外してから使用してください。

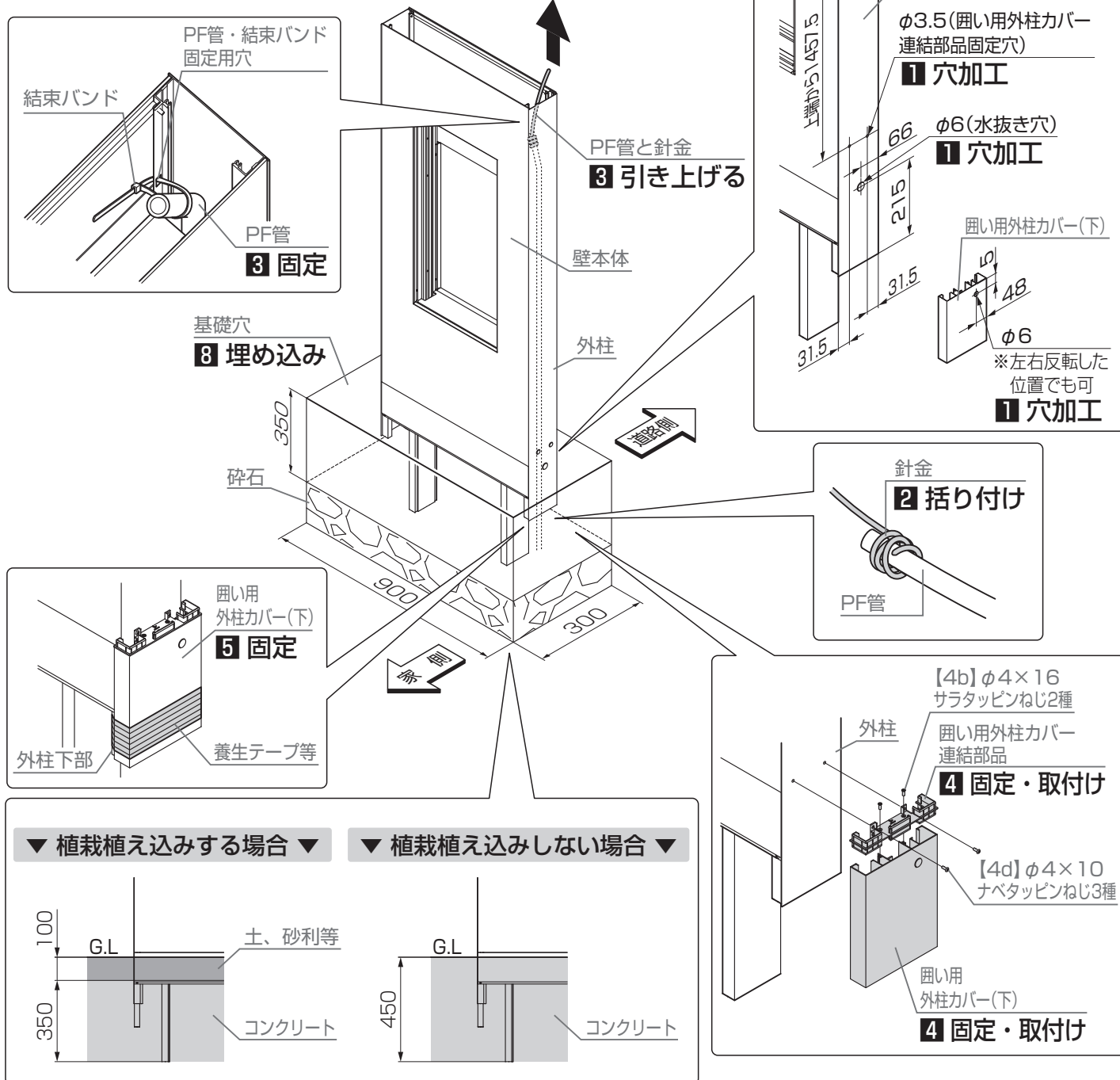
3: 結束バンドを外柱のPF管・結束バンド固定用穴に通しPF管を固定 ※PF管の引き抜き防止

4: 囲い用外柱カバー連結部品を囲い用外柱カバー下に【4b】で取付け固定、そのユニットを外柱に【4d】で取付け

5: 囲い用外柱カバー(下)と外柱下部をテープで巻いて固定

6: 埋め込みを実施

※道路側が表(ポスト、宅配ボックスの投函フタが見える面)になります。



### 3 本体の建込み・基礎の打設

#### 3-3 textoneタイプ

##### 重要

運搬の際に衣装面材だけの部分は持たないでください。

詳細は15ページ「持って良い箇所」を参照してください。

1: 梱包開梱後、囲い用外柱カバー(上)を外す

##### 施工上のお願い

- 囲い用外柱カバー(上・下)は固定していません。
- 持ち運ぶ際に囲い用外柱カバー(上)はつかまないでください。

2: 囲い用外柱カバー(下)に水抜き穴(φ6)を部材上端から5mmの位置に1か所加工

##### 施工上のお願い

- 囲い用外柱カバー(下)の水抜き穴は左右どちらでも加工可能です。

3: 針金が外柱にテープ止めされているので、現場手配のPF管と針金を括り付け

##### 施工上のお願い

- 明るさセンサが取付く側の外柱にPF管を通してください。
- 針金は本体正面左側の外柱にテープ固定されています。PF管を正面右側の外柱に通す場合は、一度針金を取り外してから使用してください。
- PF管呼び16を使用してください。それ以外のサイズは挟み込んで固定することができません。

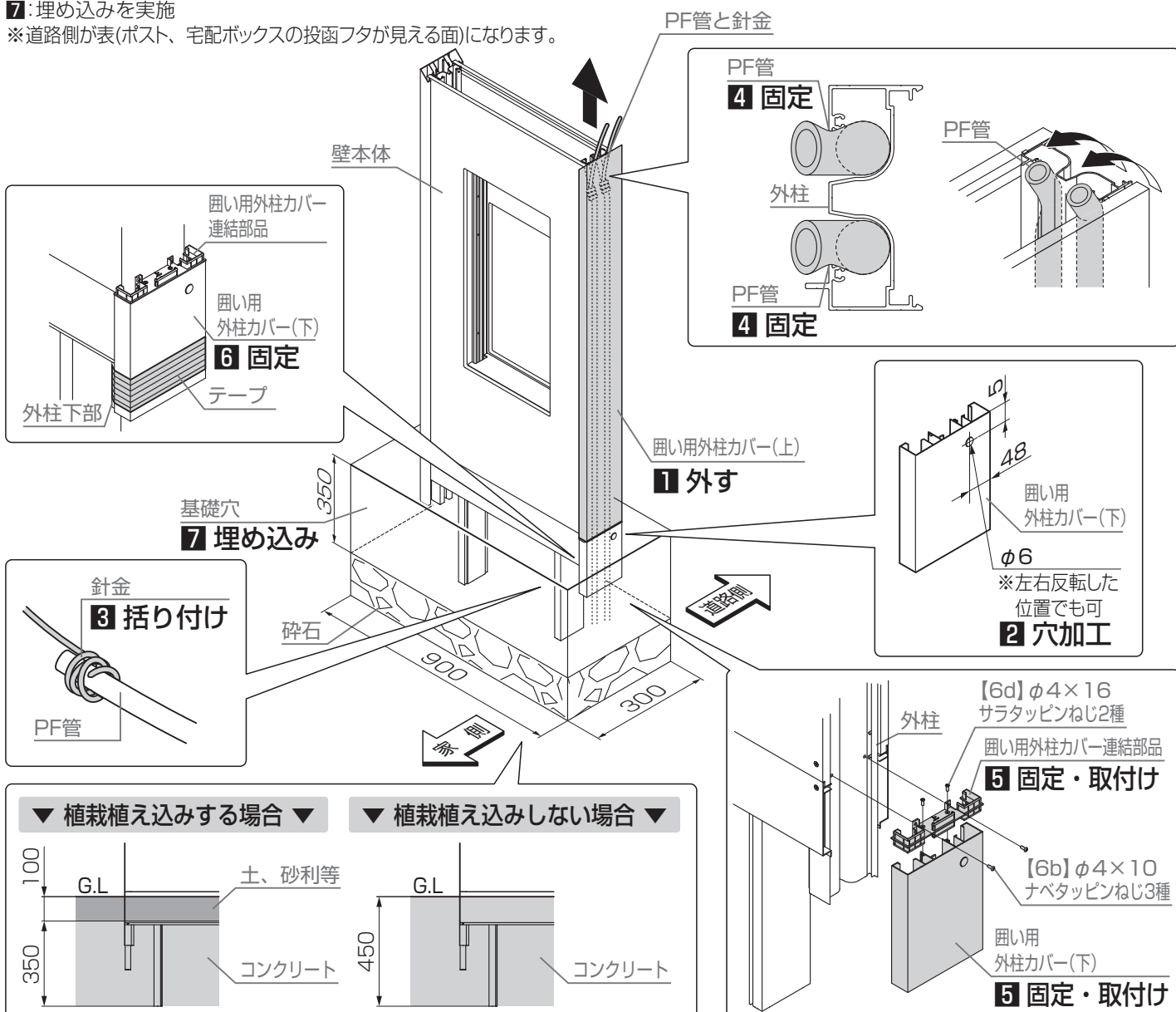
4: PF管2本(インターホン用、照明用)を針金を使用し、外柱からセンターブロック空間内に引き込み、外柱で挟み込んで固定  
(※PF管の引き抜き防止)※巾木と囲い用外柱カバー下の養生をはがしてください。

5: 囲い用外柱カバー連結部品を囲い用外柱カバー下に【6d】で取付け固定、そのユニットを外柱に【6b】で取付け

6: 囲い用外柱カバー(下)と外柱下部をテープで巻いて固定

7: 埋め込みを実施

※道路側が表(ポスト、宅配ボックスの投函フタが見える面)になります。





### 3 本体の建込み・基礎の打設

#### 3-3 textoneタイプ

##### 重要

下記指定の箇所以外を持っての運搬は行わないでください。

##### 持って良い箇所

●運搬の際は、図の実線箇所を持ってください。



- ・G.L.下部分全体
- ・ポスト上枠の裏側
- ・センターブロック空間(面の形材が組み付いている道路面側のみ)

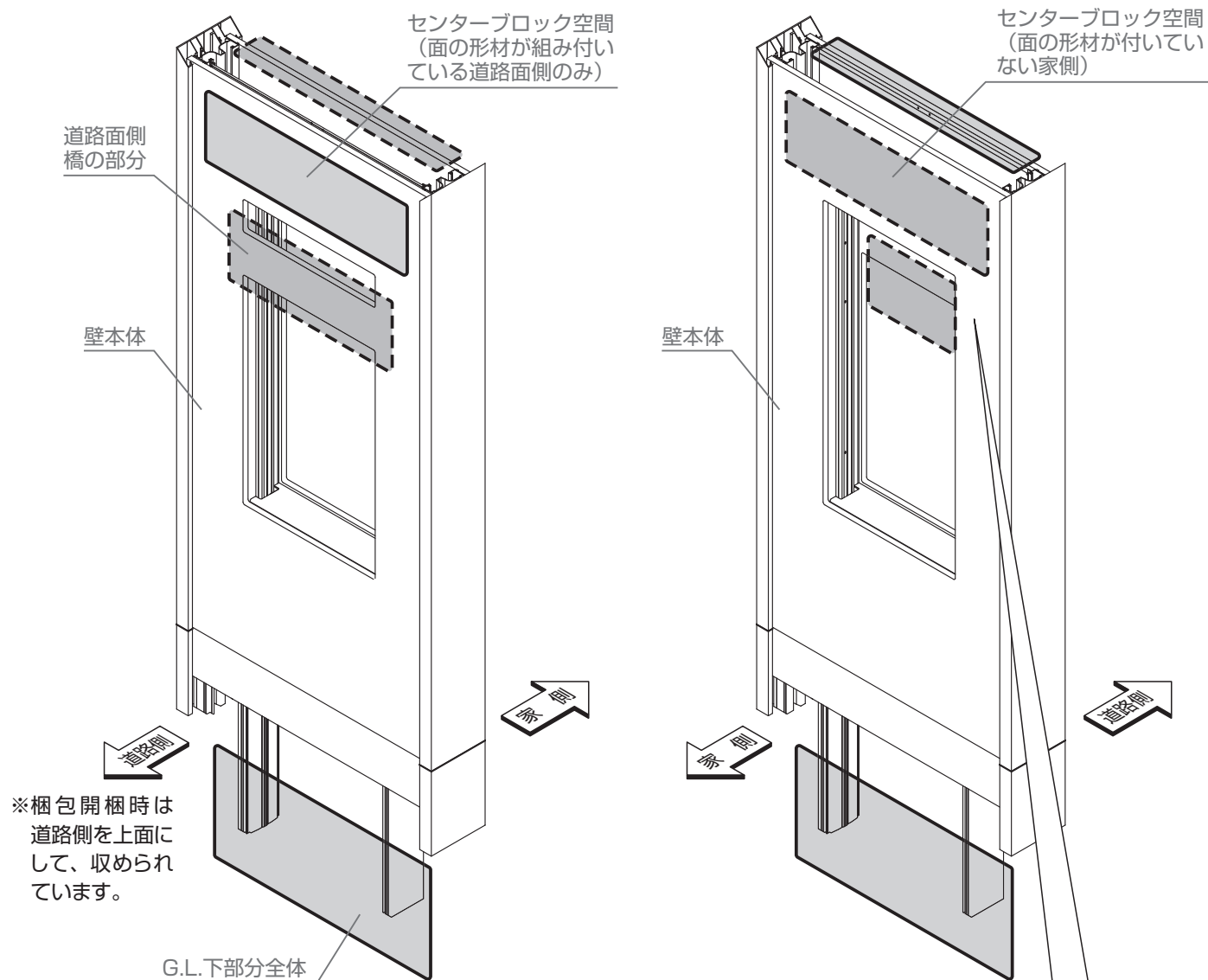
##### 持ってはいけない箇所

●運搬の際は、図の点線箇所は持たないでください。

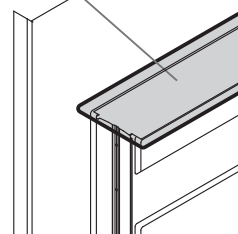
※衣装面材だけの箇所は持たないでください



- ・センターブロック空間(面の形材が付いていない家側)
- ・道路面側、橋の部分



ポスト上枠の裏側



### 3 本体の建込み・基礎の打設

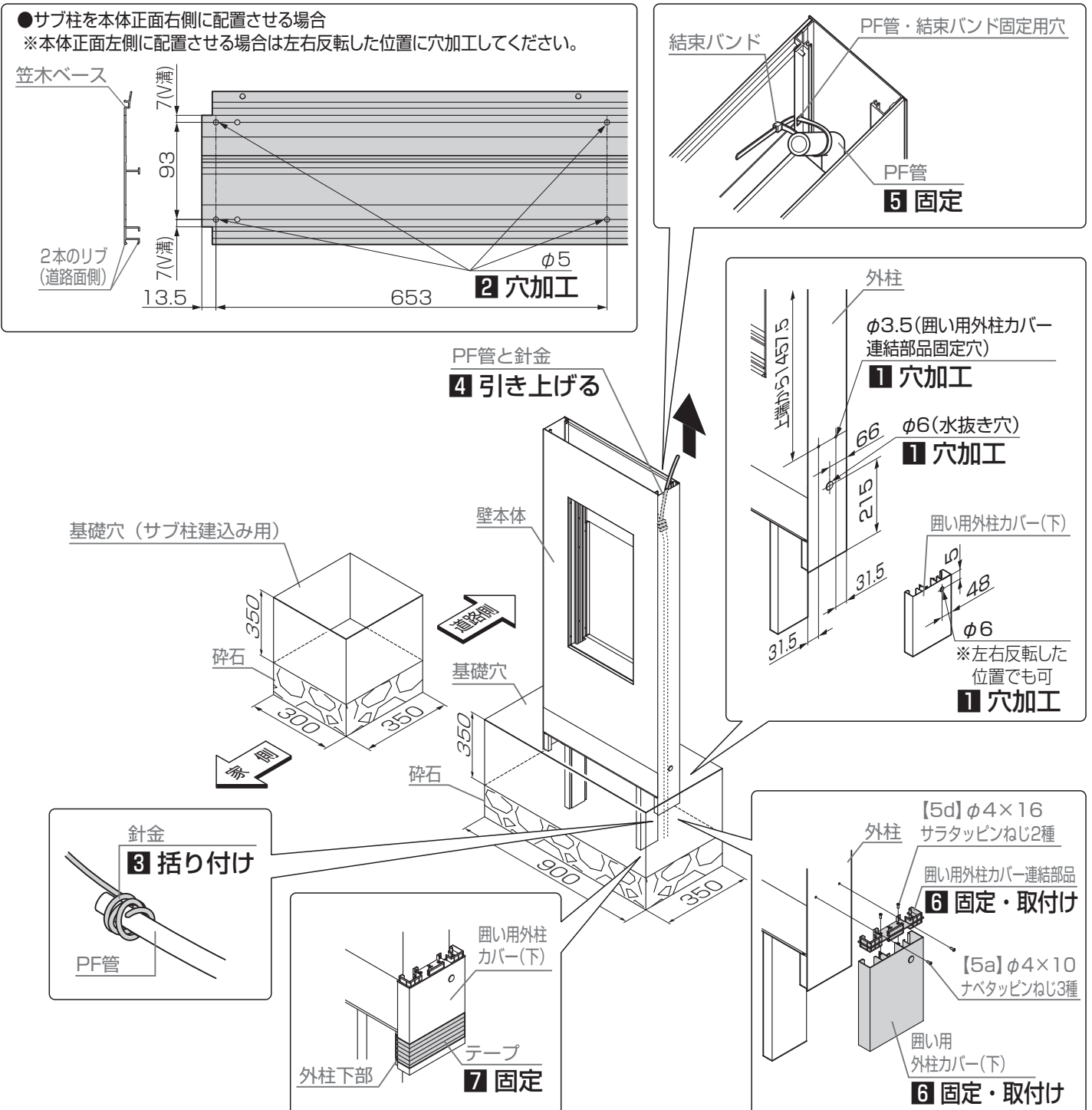
#### 3-4 ロングタイプ

※下図は笠木の延長方向およびサブ柱を本体正面右側に配置させた場合になります。本体正面左側に配置させる場合は左右反転となります。  
 ※明るさセンサを取付ける場合は、サブ柱と反対側の本体側面(囲い用外柱カバー(上))のみに取付けられます。

- 1: 外柱に水抜き穴(φ6)を部材下端から215mmの位置に左右1か所づつ、および囲い用外柱カバー(上・下)が取付く側の外柱に囲い用外柱カバー連結部品固定穴(φ3.5)を部材上端から1457.5mmの位置に2か所加工
- 2: 笠木ベースに本体取付用の穴を加工
- 3: 針金が外柱にテープ止めされているので、現場手配のPF管と針金を括り付け
- 4: PF管2本(インターホン用、照明用)を針金を使用し、センターブロックまで引き上げる
- 5: 結束バンドを外柱のPF管・結束バンド固定用穴に通しPF管を固定 ※PF管の引き抜き防止

#### 施工上のお願

- 囲い用外柱カバー(上・下)が取付く側の外柱にPF管を通してください。
  - 針金は本体正面左側の外柱にテープ固定されています。PF管を正面右側の外柱に通す場合は、一度針金を取り外してから使用してください。
- 6: 囲い用外柱カバー連結部品を囲い用外柱カバー下に【5d】で取付け固定、そのユニットを外柱に【5a】で取付け
  - 7: 囲い用外柱カバー(下)と外柱下部をテープで巻いて固定



### 3 本体の建込み・基礎の打設

#### 3-4 ロングタイプ

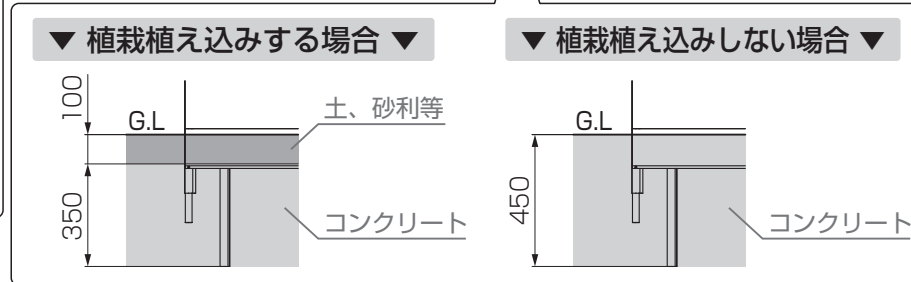
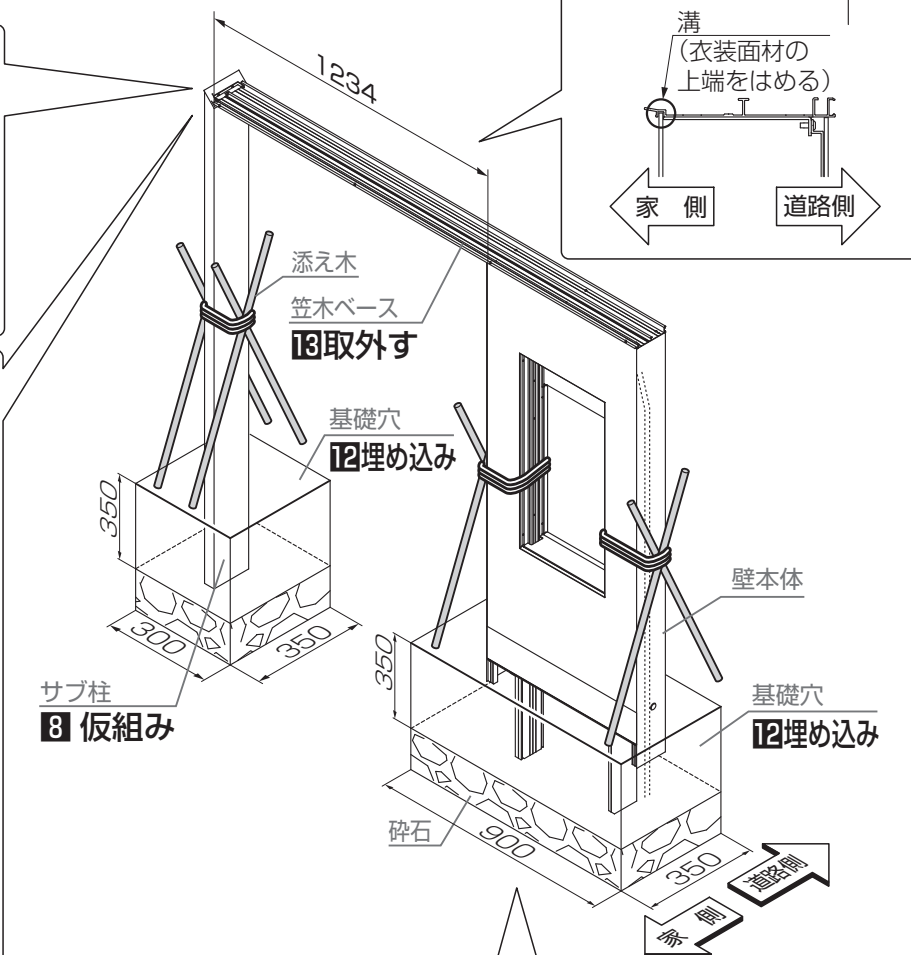
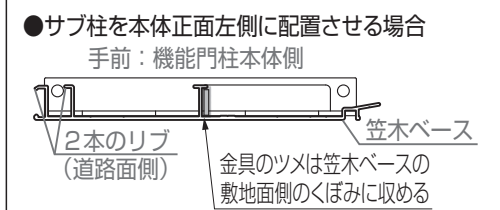
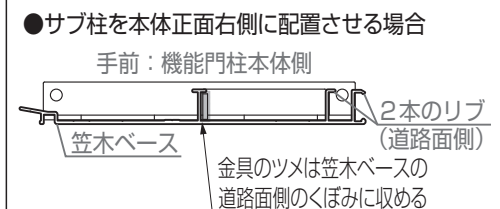
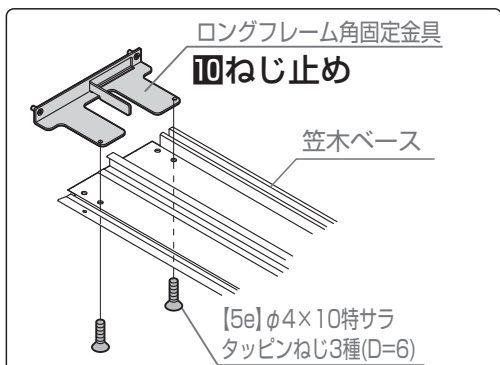
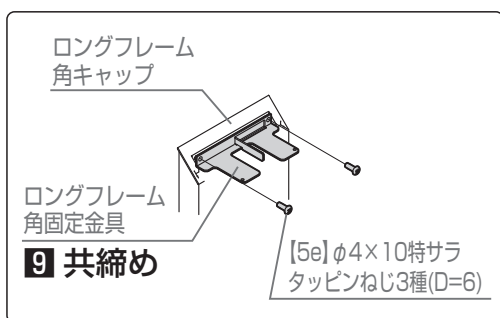
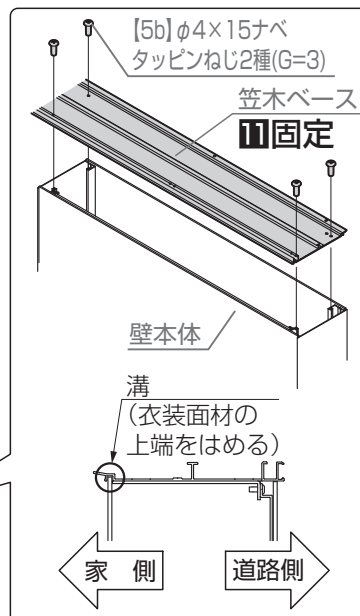
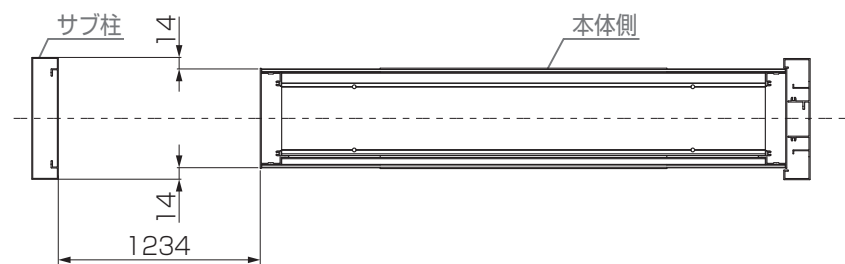
つづき

- 8: 本体およびサブ柱を添え木等使って仮組み
- 9: サブ柱に、ロングフレーム角キャップをはめ込み、ロングフレーム角固定金具と【5e】で共締め
- 10: 笠木ベースを角固定金具に下から【5e】2点でねじ止め
- 11: 笠木ベースを本体に【5b】4カ所のねじ止めで固定
- 12: 埋め込みを実施
- 13: コンクリートが固まった後、10、11で固定したねじを全て外し、笠木ベースを取り外す

#### 施工上のお願

●取りはずしたねじは外柱の中に落とさないように注意してください。落とした場合、取り出せなくなります。

- サブ柱と本体のねじれ確認のため、本体とサブ柱の表面は前後ともに14mmの間隔があいていること、また水平、垂直を確認してください。



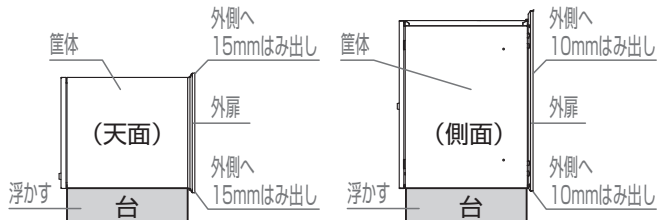
# 4 宅配ボックスとポストの取付け

## 重要

ポストのみ仕様は5.1の投函フタの取り外し以降の作業を実施してください。

### 施工上のお願い

- 本内容は宅配ボックス取付けの内容になります。ポスト仕様の場合は、P20からの作業をおこなってください。
- 宅配ボックスの外扉の外形は、筐体の外形よりも四方にはみ出して大きいので、本体を仮置きする際や穴加工する際は、外扉の縁が地面に接触しないように、厚み20mm以上の台などで本体を仮置きしてください。接触させると自重負荷により外扉が変形することがあります。

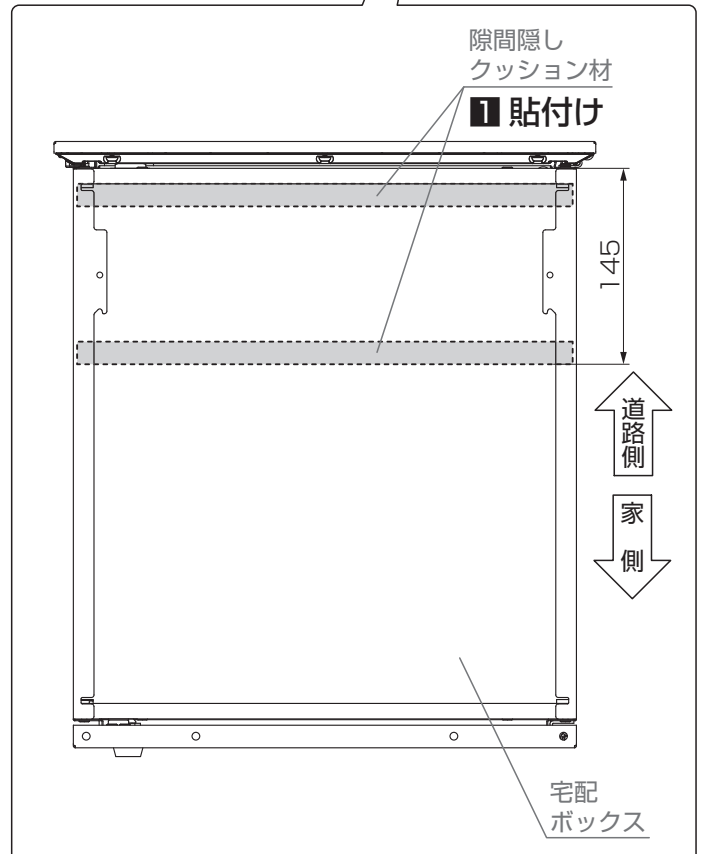
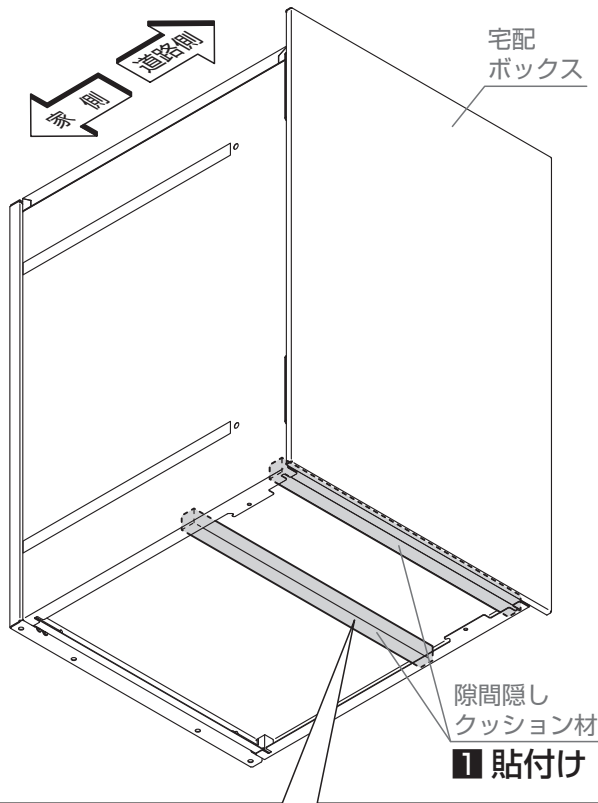


宅配ボックスを寝かせて配置し真横から見た図

宅配ボックスを立てて配置し真横から見た図

## 4-2 隙間隠しクッション材の貼付け

- 1: 隙間隠しクッション材を宅配ボックス底面の道路側の板金折り返しに沿わせて1本貼付け  
もう1本は底面の前面から145mmの位置に貼付け

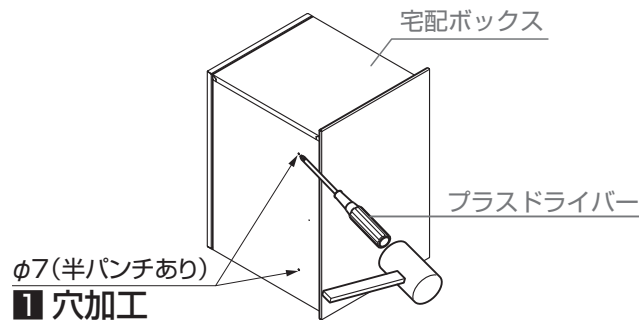


## 4-1 穴加工

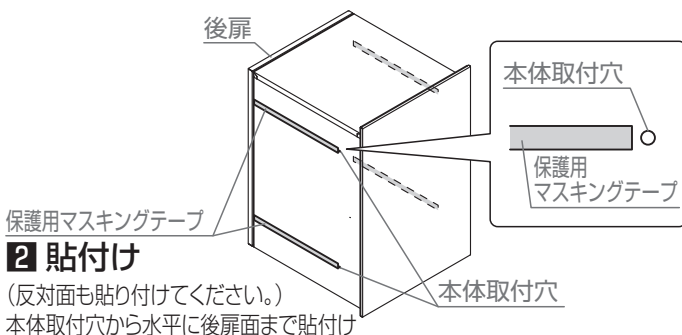
- 1: 宅配ボックスの半パンチ加工部をハンマーなどで穴加工

### 施工上のお願い

- プラスドライバーを当て、ハンマーなどで叩いて穴をあけてください。固い場合は半パンチのセンターにφ7の穴をドリルであけてください。
- 反対面も同様の穴加工を行ってください。
- あけた穴にバリがある場合には、バリ取りを行なってください。
- 穴加工の際は、ダンボールなどを宅配ボックスの下に敷き、キズが付かないようにしてください。
- 切粉は確実に除去してください。残っていると錆の原因になります。



- 2: 保護のため、マスキングテープを宅配ボックスに貼付け (15mm以上の幅のマスキングテープを推奨します。)



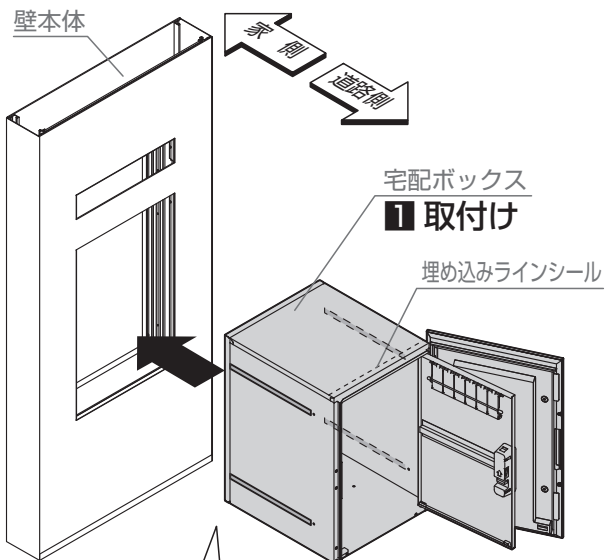
## 4 宅配ボックスとポストの取付け

### 4-3 宅配ボックスの取付け

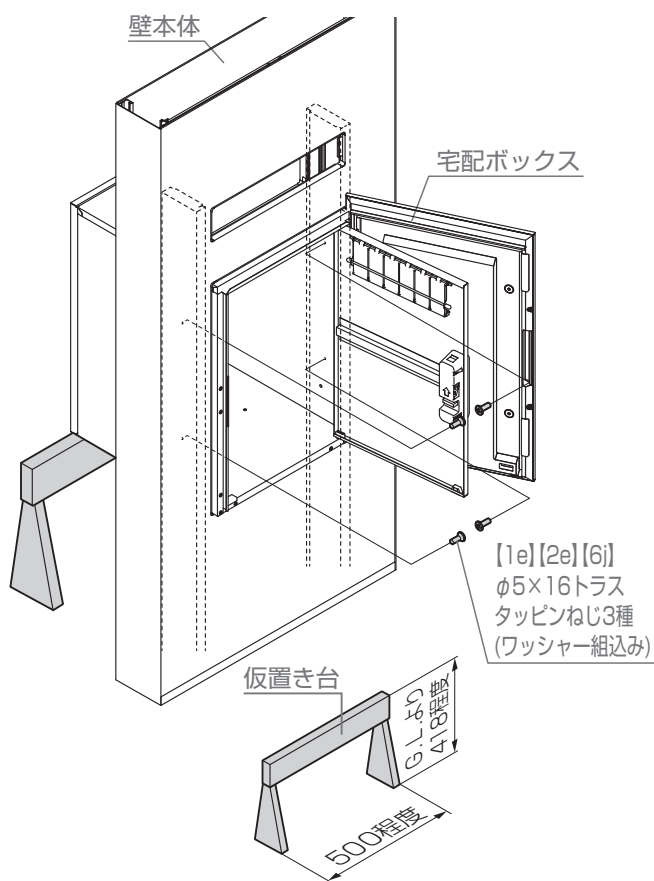
①: 宅配ボックスを壁本体に【1e】【2e】【6j】で取付け

#### 施工上のお願い

- 宅配ボックスを挿入する際は、宅配ボックスの本体にキズが付かないように慎重に入れてください。
- 宅配ボックス仮締め後、前項で貼り付けたマスキングテープをはがしてください。
- 埋め込みラインシールにしたがって、宅配ボックスを差し入れてください。その後、埋め込みラインシールをはがしてください。
- 同梱ねじ【1e】、【2e】、【6j】を宅配ボックス取付位置のねじ穴に仮打ちし、ねじを立ててください。



- 壁本体に設置する際には、添え木等で落ちないようにしてください。

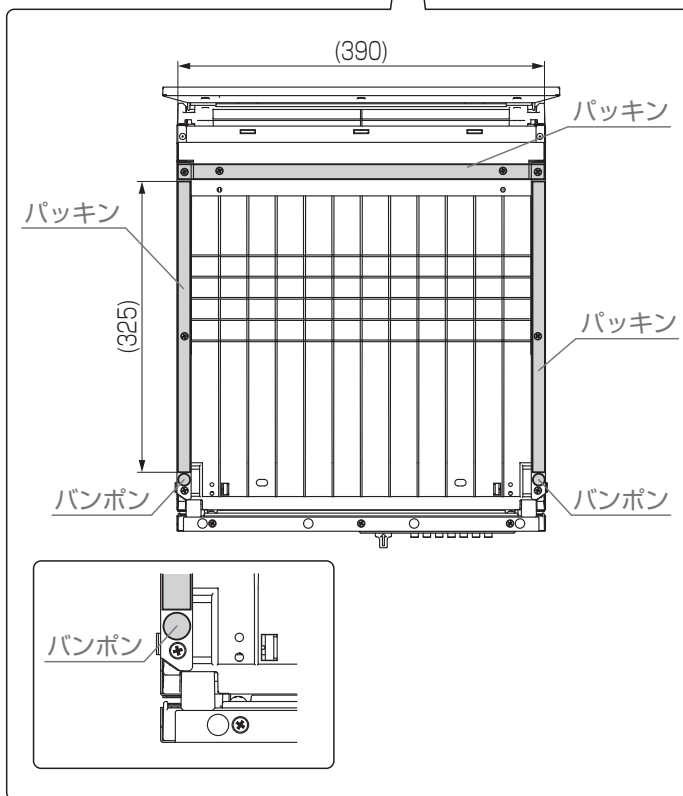
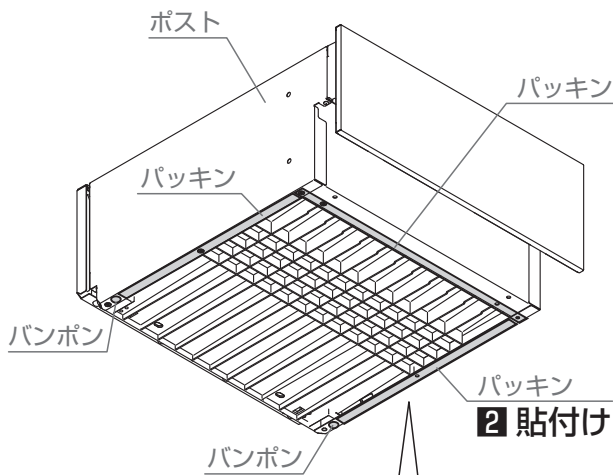


### 4-4 ポストにパッキン、バンポンの貼り付け

②: バンポン、パッキンをポストの裏面に貼付け

#### 施工上のお願い

- パッキンは390mmが3本ありますので、側面部は長さを合わせて現場切断してご使用ください。





# 5 ポストの取付け

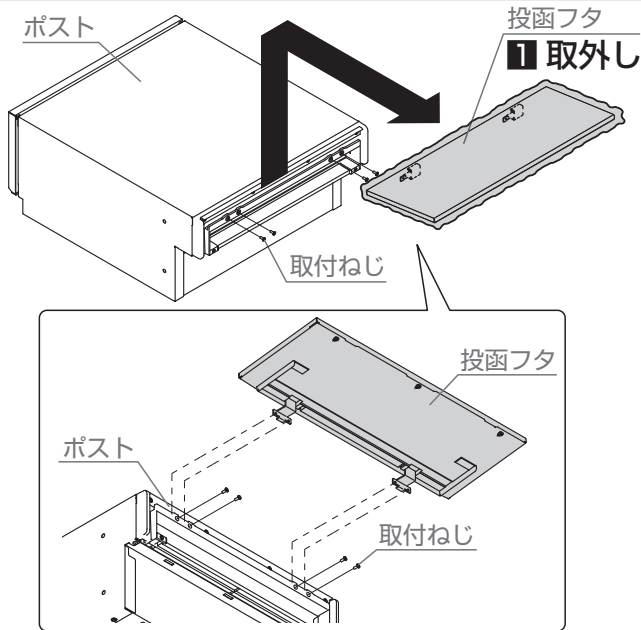
※図はボックスセット仕様になっていますが、ポストのみ仕様も同じ作業内容になります。

## 5-1 投函フタの取外し

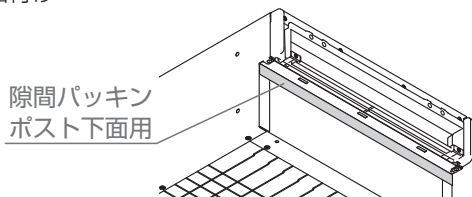
1: ポストの投函扉を取外し

### 施工上のお願い

- 取外したねじは再利用しますので、なくさないように保管してください。
- 取外した投函フタは、キズなどが付かないように保管してください。



2: ポスト仕様の場合は、隙間パッキンポスト下面用を投函口の下に貼付け



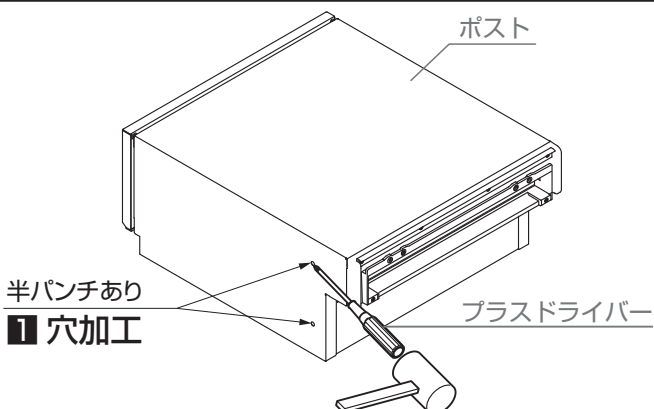
※ボックスセット仕様はこの作業は不要になります。

## 5-2 穴加工

1: ポストの半パンチ加工部をハンマーなどで穴加工

### 施工上のお願い

- プラスドライバーを当て、ハンマーなどで叩いて穴をあけてください。固い場合は半パンチのセンターにφ6の穴をドリルであけてください。
- 反対面も同様の穴加工を行ってください。
- あけた穴にバリがある場合には、バリ取りを行なってください。
- 穴加工の際は、ダンボールなどをポストの下に敷き、キズが付かないようにしてください。

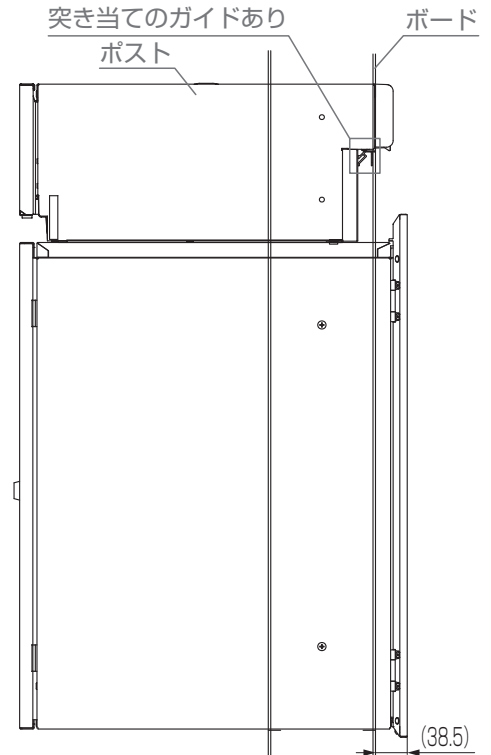


## 5-3 ポストの取付け

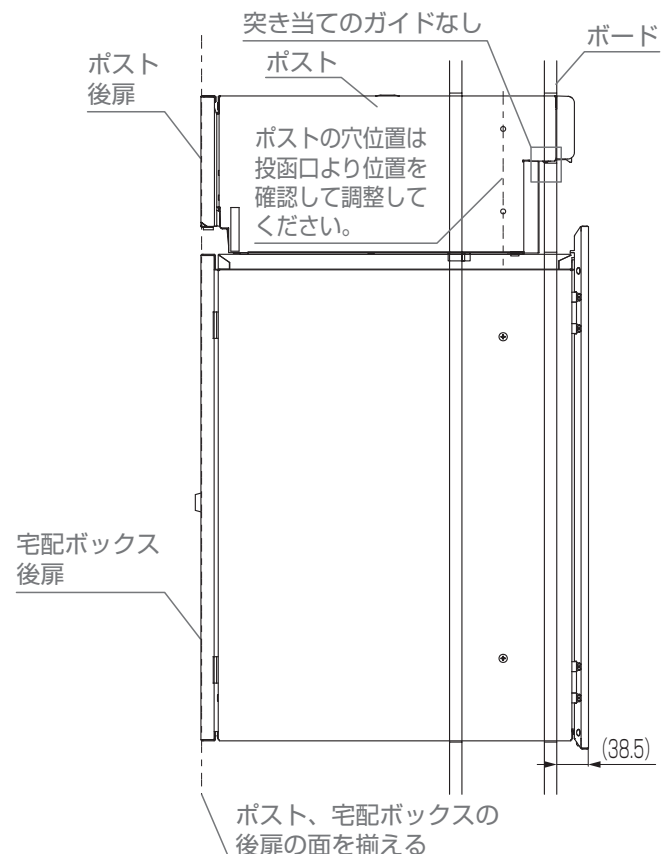
### 施工上のお願い

- ポスト木調本体仕様は枠材がついています。押し込んでいき突き当たったところで固定してください。
- ポストtextoneタイプに関してはガイドはありません。宅配ボックスの後ろ扉で面を合わせ、投函口から穴位置を確認し調整してください。

### ●木調本体仕様 側面断面図



### ●textoneタイプ 側面断面図





## 5 ポストの取付け

### 5-3 ポストの取付け

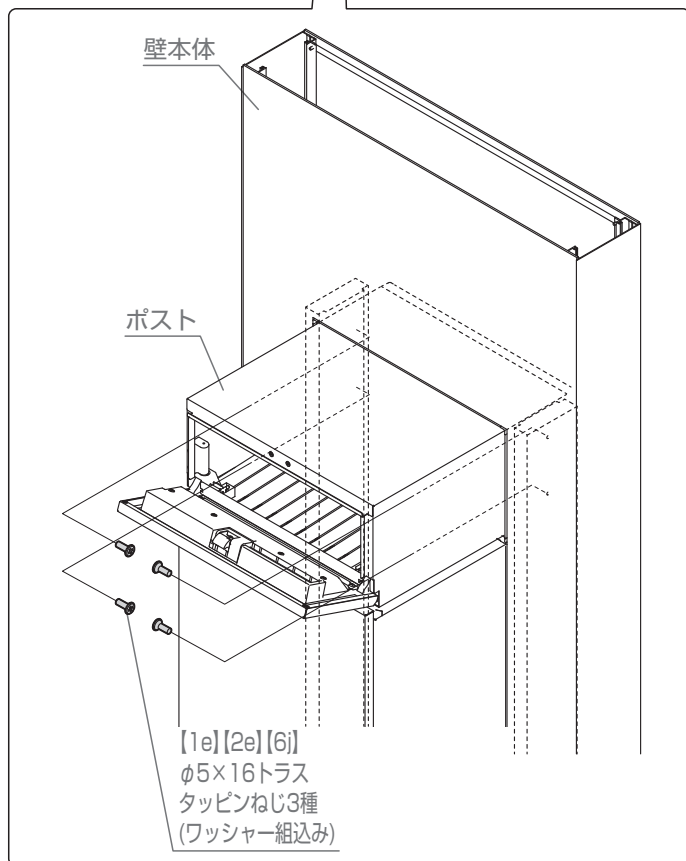
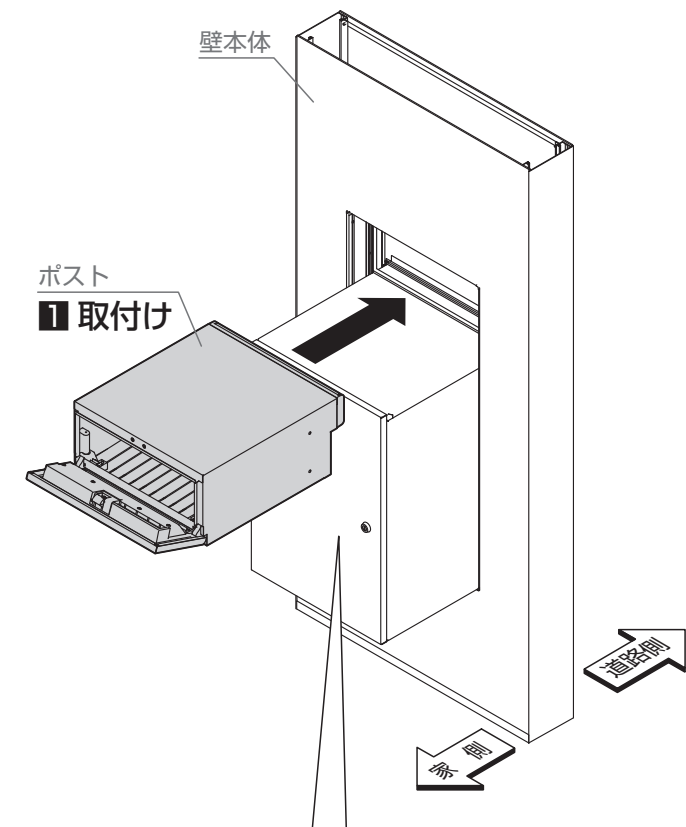
つづき

1: ポストを壁本体に【1e】【2e】【6j】で取付け

#### 施工上のお願い

- ポストを挿入する際は、ポストの本体にキズが付かないように慎重に入れてください。
- 同梱ねじ【1e】、【2e】、【6j】を宅配ボックス取付位置のねじ穴に仮打ちし、ねじを立ててください。

※ 下図はボックスセット仕様をあらわします。ポスト仕様も同様の作業になります。

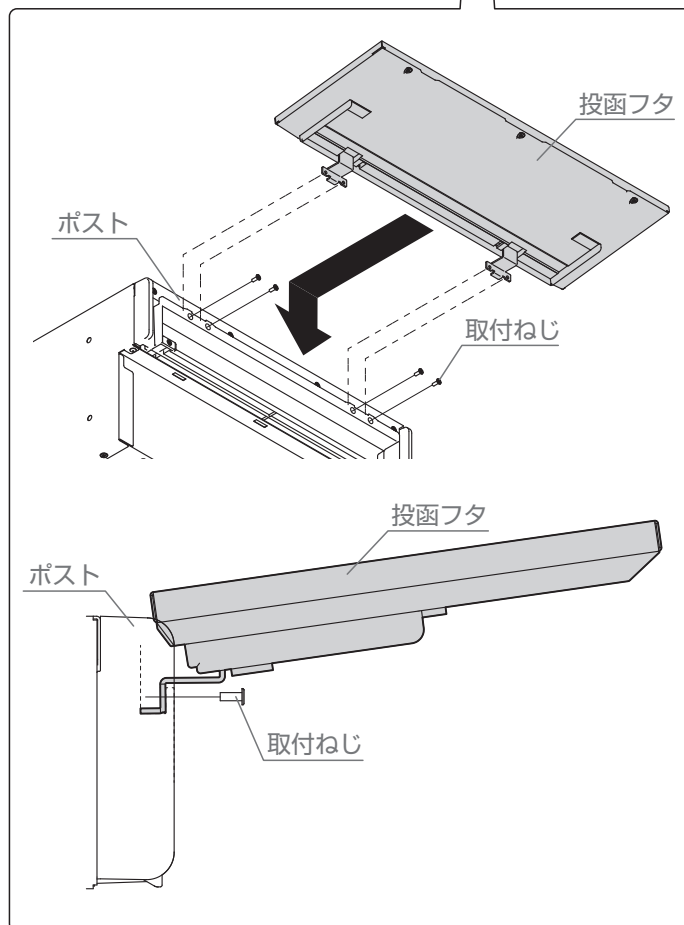
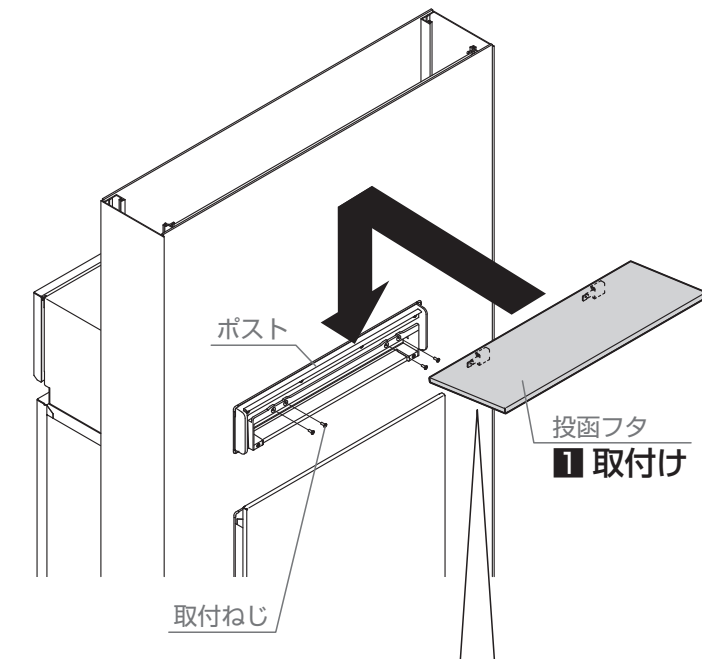


### 5-4 投函フタの取付け

1: 投函フタをポストに取付け

#### 施工上のお願い

- 投函フタをキズつけないように取付けてください。
- ポストの投函フタを取り付ける際にねじはトルク0.8N・mで取付け、ゆるみがないことを確認してください。これ以上強く締めると割れにつながる可能性があります。
- インパクトドライバーを使用しないでください。



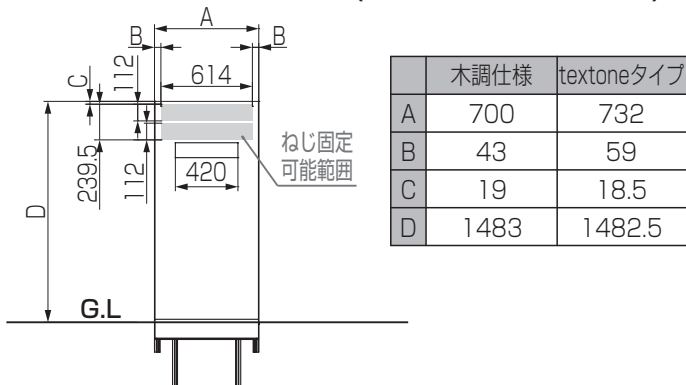
## 6 オプションの取付け

### 6-1 サイン・インターホン・面付け照明のねじ固定可能範囲

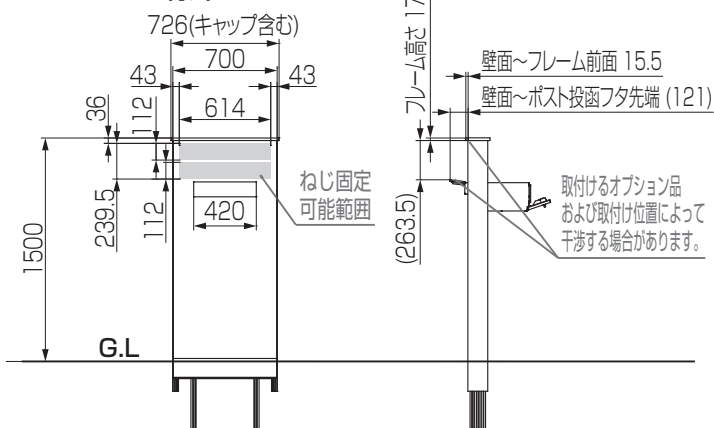
#### 施工上のお願い

- サイン・インターホン・面付け照明の取付け位置を事前に確認してください。

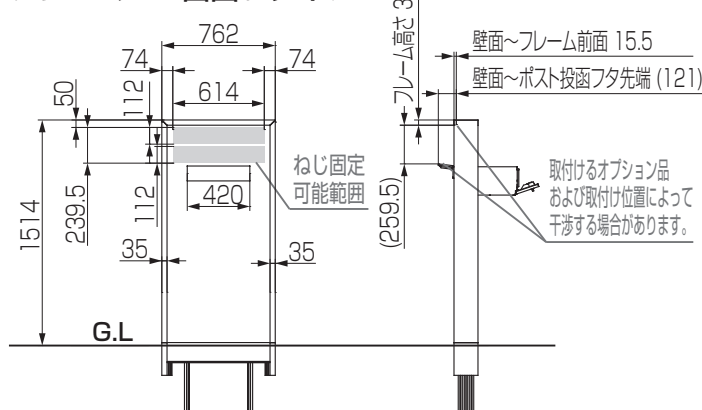
木調仕様・textoneタイプ(フレーム部材無し状態)



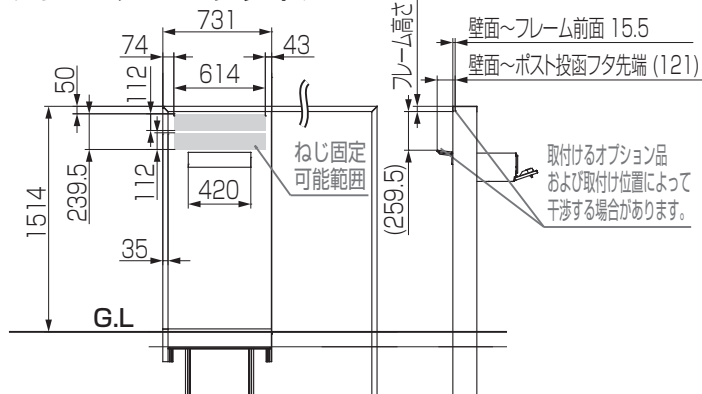
フレーム：標準タイプ



フレーム：3面囲いタイプ



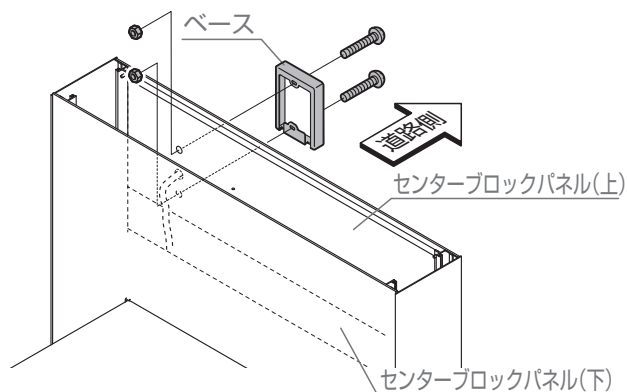
フレーム：ロングタイプ



### 6-2 インターホンの取付け

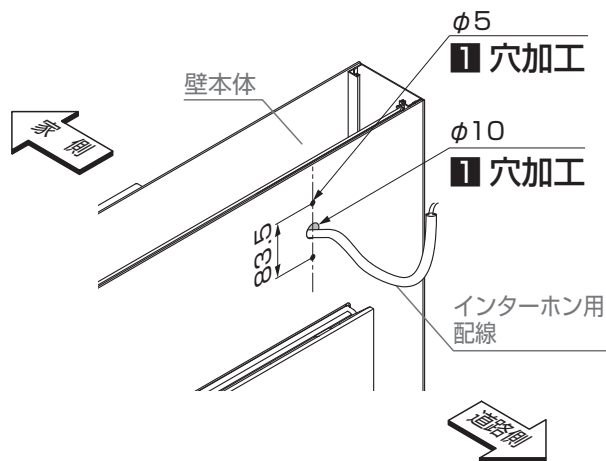
#### 施工上のお願い

- インターホンは必ずセンターブロックパネルに固定してください。

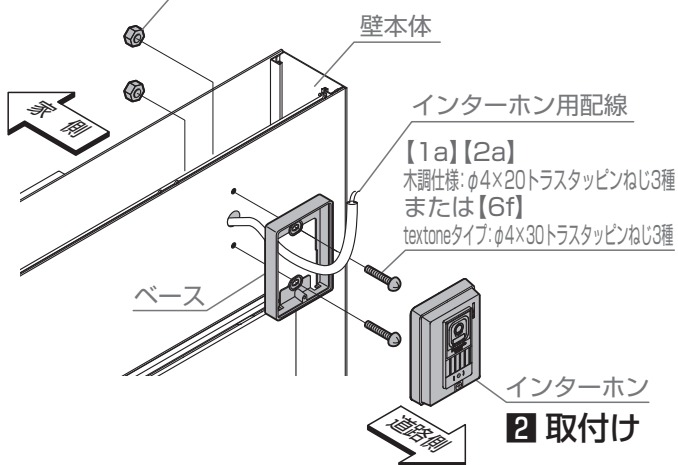


- 固定の際に配線を接続してください。取付け、配線の詳細はインターホン子機の取付説明書を参照してください。
- インターホン取付けの前にカメラ位置を調整してください。

1: 壁本体にφ5とφ10の穴加工



2: インターホンを壁本体に【1a】【2a】または【6f】と【1b】【2b】または【6e】で取付け  
【1b】【2b】または【6e】M4用六角ナット



3: 笠木ベース、笠木・フレームを取付け

#### 施工上のお願い

- 笠木ベース、笠木・フレームの取付けは、**7 笠木・フレームの取付け** を参照してください。

## 6 オプションの取付け

### 6-3 サインの取付け

#### 施工上のお願い

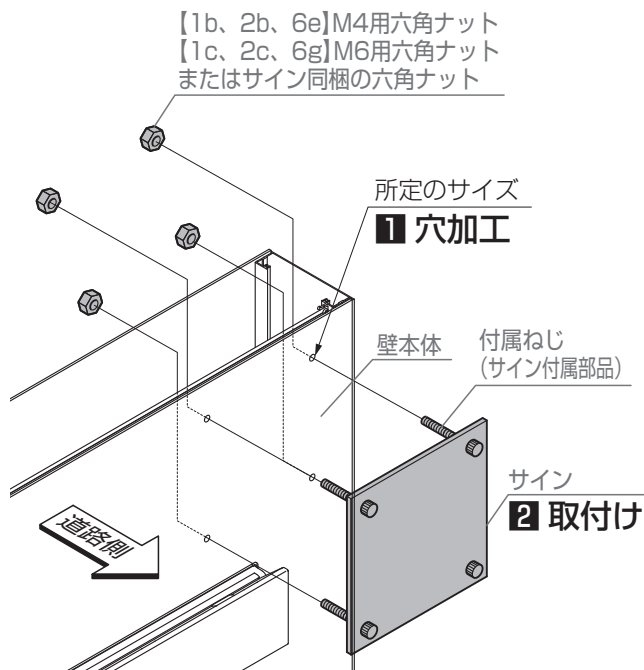
- サイン取付ねじやナットは外柱の中に落とさないように注意してください。落とした場合、取り出せなくなります。
- textoneタイプにサインを取付ける場合は、ねじ通し用の穴あけをした箇所にシーリングを塗布してからねじを通してください。穴あけした箇所にシーリングをおこなわないと衣装面材凍害により損傷する原因になります。

#### ●ねじ仕様のサイン

- 1: サインのねじ位置にあわせて壁本体に所定(※)の穴加工
- 2: サインを壁本体に【1b、2b、6e】、【1c、2c、6g】で取付け

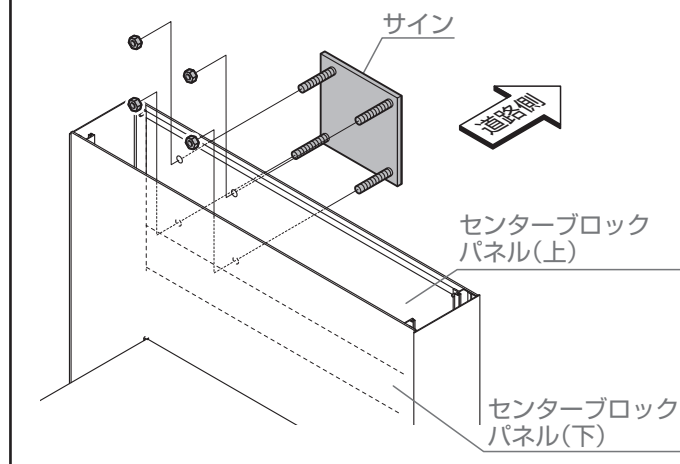
#### ※サイン穴加工サイズ一覧

ナットサイズ	穴加工サイズ
M2	φ3
M3	φ3.5
M4	φ4.5
M6	φ6.5



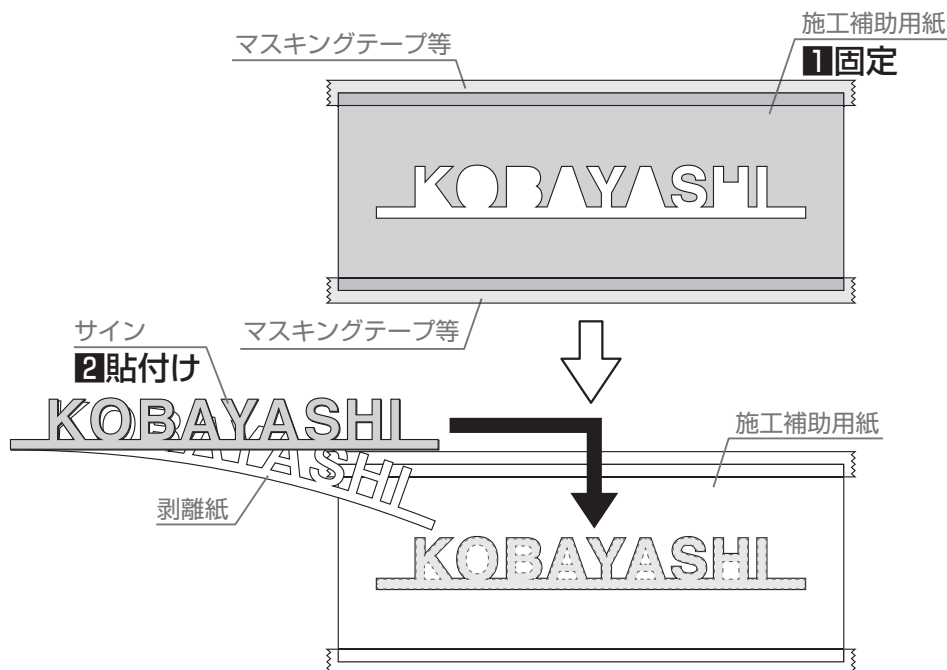
#### 施工上のお願い

- サインは必ずセンターブロックパネルに固定してください。



#### ●両面テープ仕様のサイン ※下図は切文字サインF(W220)を表します。

- 1: 施工補助用紙をマスキングテープ等で壁に固定
- 2: サインの裏の剥離紙を剥がして施工補助用紙に沿って貼付け



#### 施工上のお願い

- 付属ねじの組立て、サインの詳細はサインの取付説明書を参照してください。
- サインを取付ける時、取付けねじを締め付けすぎないように取付けてください。

## 6 オプションの取付け

### 6-4 12V用照明部品の取付け

※本内容は笠木照明・面付け照明共通の内容になります。

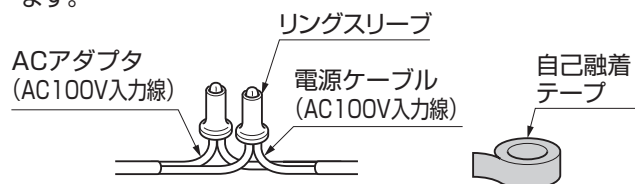
#### 施工上のお願い

- ACアダプタのコネクタ側が、明るさセンサの方向に向くように固定してください。
- 外部のトランス電源ユニットを使用する場合やAC100V照明を使用する場合は「6-5 照明灯具の取付け」に進んでください。

#### 6-4-1 ACアダプタの取付け

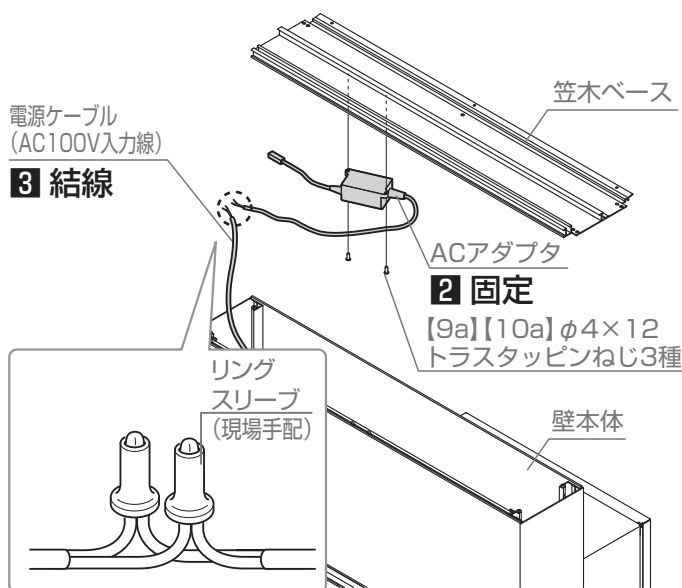
##### 警告

- 配線接続部はリングスリーブで確実に行き、自己融着テープなどで防水テーピングを施してください。不完全な場合、絶縁不良による火災・感電のおそれがあります。



- 取付けの際は、安全のため電源を切ってください。通電状態で行うと感電のおそれがあります。
- コネクタ付きの線はDC12V出力線です。AC100Vを接続しないでください。

- 2: ACアダプタを笠木ベースに【9a】【10a】で固定
- 3: 電源ケーブルとACアダプタのAC100V入力線を結線

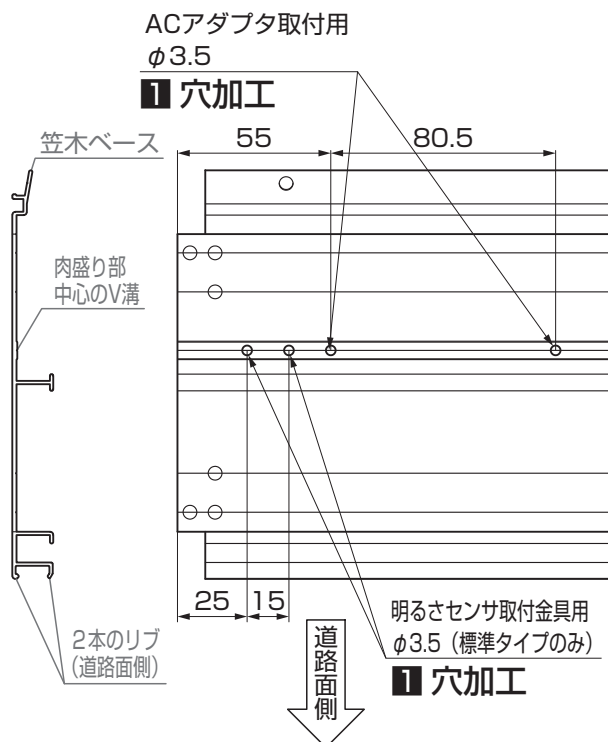


- 1: 笠木ベースにACアダプタ取付用穴(φ3.5)および、明るさセンサ取付金具取付用穴(標準タイプのみ、φ3.5)を加工

- 本体正面左側の外柱にPF管を通した場合の加工  
※本体正面右側の外柱にPF管を通した場合は、左右反転の位置に加工してください。

#### 補足

- 標準タイプの場合、P25の手順に進む。
- 3面囲いタイプ、textoneタイプ、ロングタイプの場合、P26の手順に進む。



## 6 オプションの取付け

### 6-4 12V用照明部品の取付け

#### 6-4-2 明るさセンサの取付け

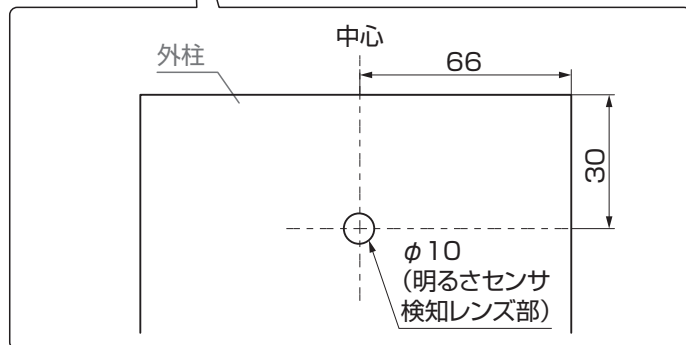
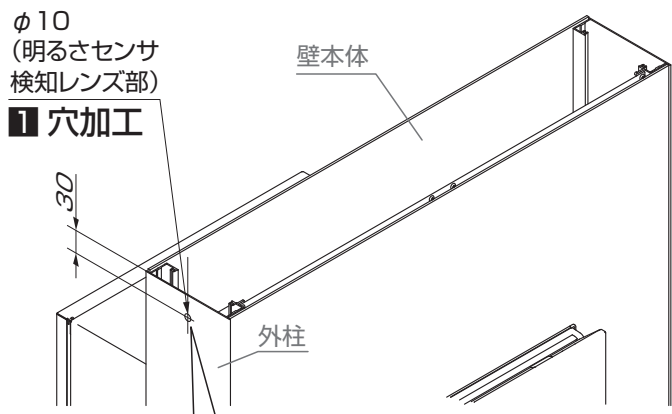
つづき

##### (1) 標準タイプの場合

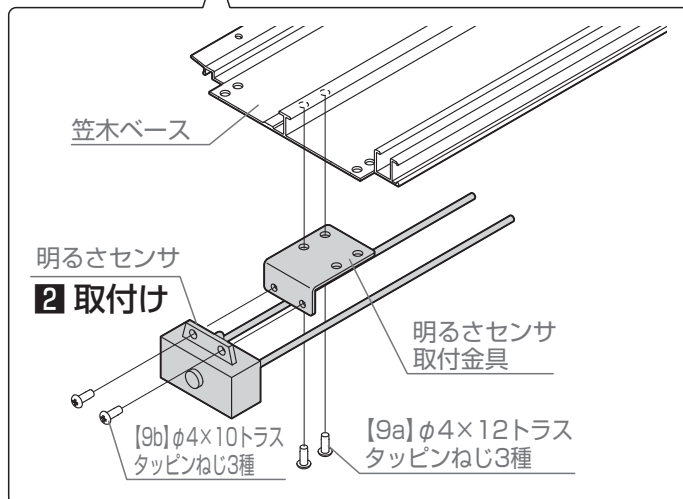
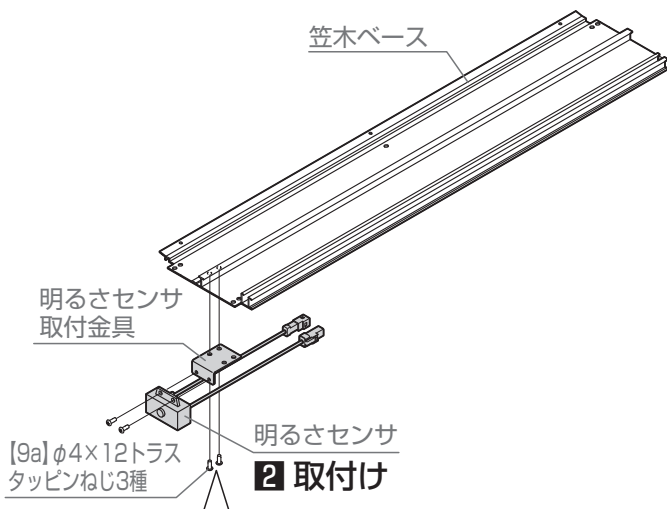
❶: 壁本体側面の外柱にφ10の穴加工

##### 施工上のお願い

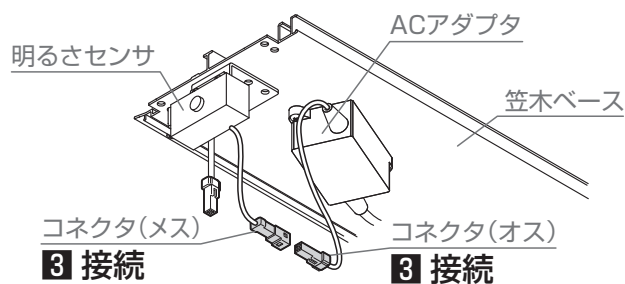
●穴あけ後はバリを除去してください。



❷: 笠木ベースに明るさセンサを【9a】および【9b】で取付け

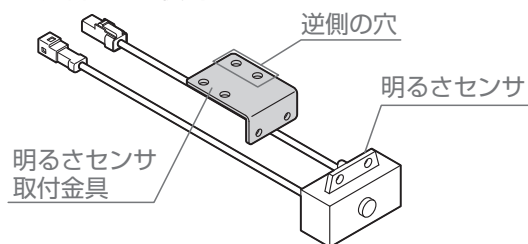


❸: ACアダプタと明るさセンサのコネクタを接続



##### 施工上のお願い

●本体正面右側の外柱にPF管を通した場合は、明るさセンサ取付金具の逆側の穴を使用してください。



##### 補 足

●以降の施工作業は「6-5 照明灯具の取付け」手順に進む。

## 6 オプションの取付け

### 6-4 12V用照明部品の取付け

#### 6-4-2 明るさセンサの取付け

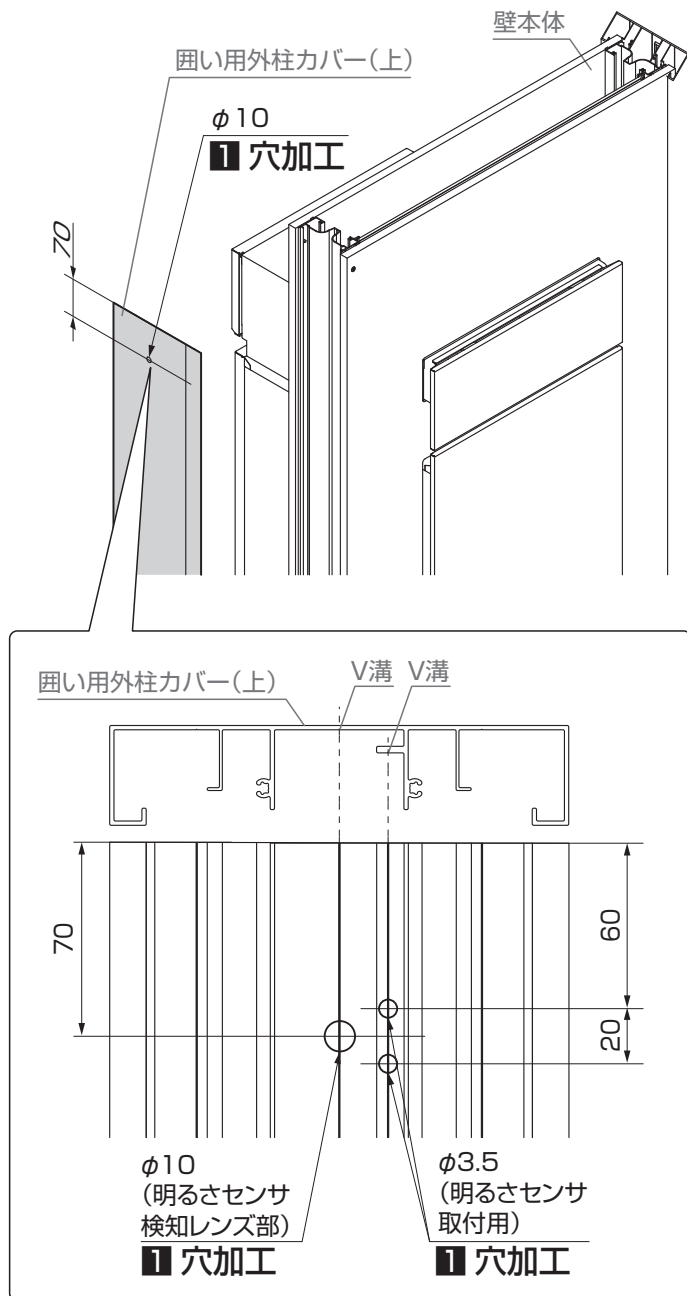
つづき

#### (2) 3面囲いタイプ(木調)、textoneタイプ、 ロングタイプの場合

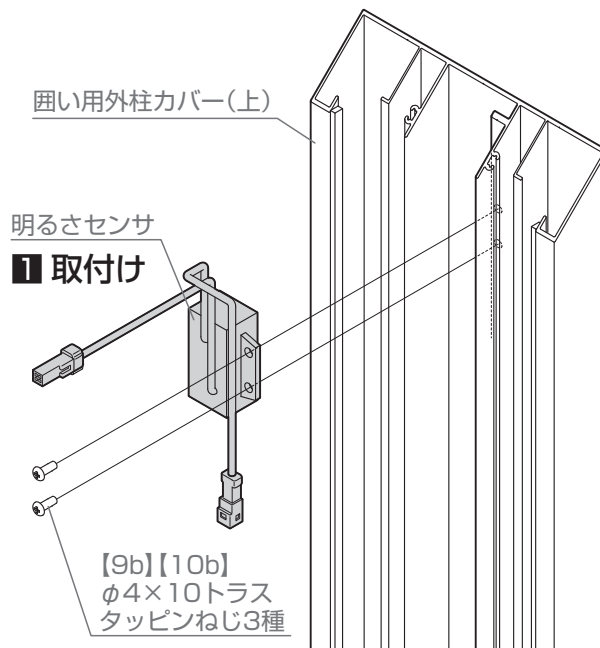
1: 囲い用外柱カバー(上)にφ10とφ3.5の穴加工

#### 施工上のお願

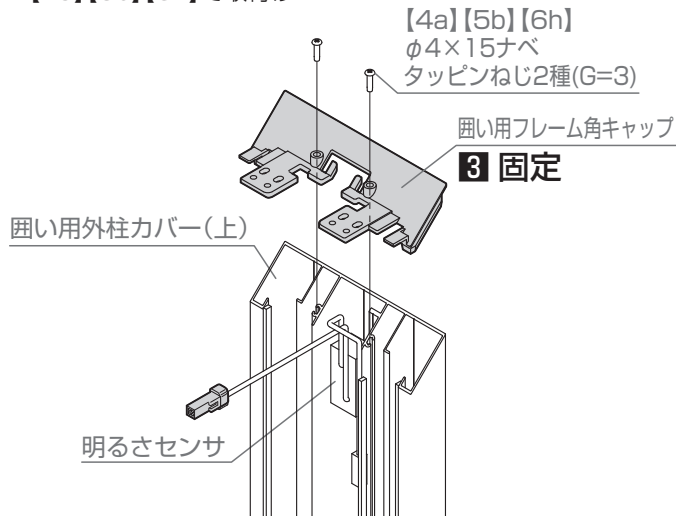
●穴あけ後はバリを除去してください。



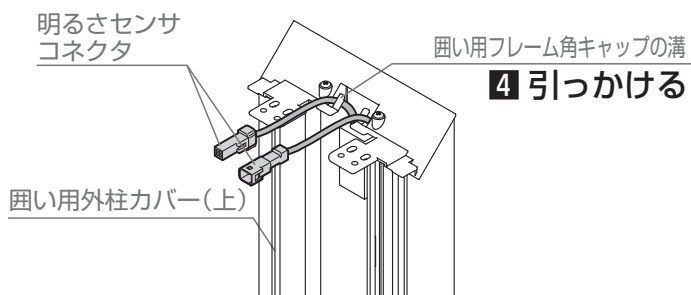
2: 囲い用外柱カバー(上)に明るさセンサを【9b】または【10b】で取付け



3: 囲い用外柱カバー(上)に囲い用フレーム角キャップを【4a】【5b】【6h】で取付け



4: 明るさセンサのコネクタを囲い用フレーム角キャップの溝にひっかける





## 6 オプションの取付け

### 6-5 照明灯具の取付け

※照明灯具の取付けの詳細は各種照明の取付説明書を参照してください。

#### 6-5-1 面付け照明の取付け

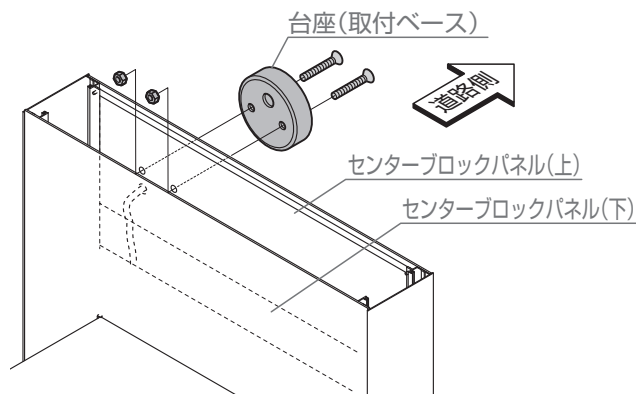
##### 施工上のお願い

- 照明取付ねじやナットは外柱の中に落とさないように注意してください。落とした場合、取り出せなくなります。
- textoneタイプに面付け照明を取付ける場合は、ねじ通し用の穴あけをした箇所にシーリングを塗布してからねじを通してください。配線通し用の穴部は配線を通した後にシーリングを塗布してください。穴あけした箇所にシーリングをおこなわないと衣装面材凍害により損傷するおそれがあります。
- 図はDC12V用グラスウォールライトを表します。AC100V照明の場合は、コネクタ接続の代わりに電源ケーブル直結の接続になります。

- 1:面付け照明のねじ・配線位置に合わせて壁本体にφ5の取付穴、φ10の配線穴加工
- 2:台座(取付けベース)を【1a】、【1d】、【2a】、【2d】、【6a】、【6f】と【1b】、【2b】、【6e】で壁本体に固定
- 3:面付け照明との配線を行ない、面付け照明を台座へ固定

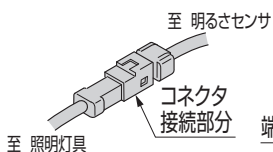
##### 施工上のお願い

- 必ずセンターブロックパネルに固定してください。

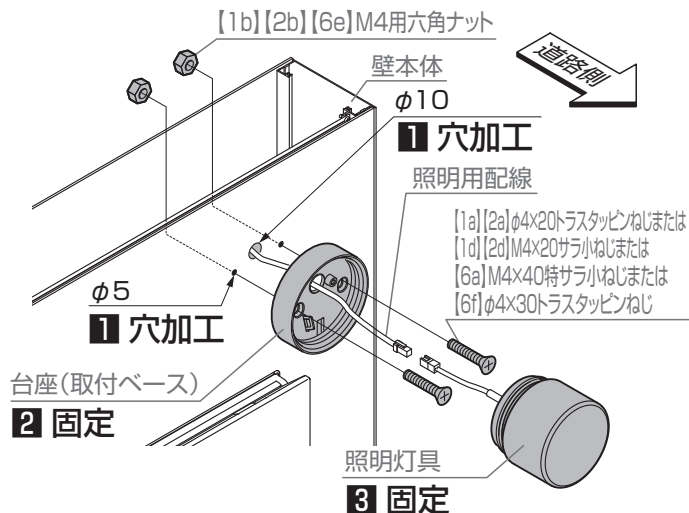
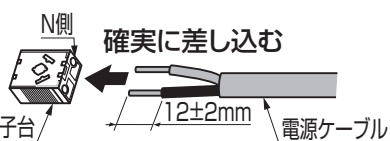


- 照明により結線方法が違います。各照明の取付説明書を参照し結線してください。

##### ▼ DC12V照明の場合 ▼



##### ▼ AC100V照明の場合 ▼



- 4:笠木ベース、笠木・フレームを取付け

##### 施工上のお願い

- 笠木ベース、笠木・フレームの取付けは、**7 笠木・フレームの取付け** を参照してください。

## 6 オプションの取付け

### 6-5 照明灯具の取付け

#### 6-5-2 笠木照明（シームレスラインライト）の取付け

##### 補 足

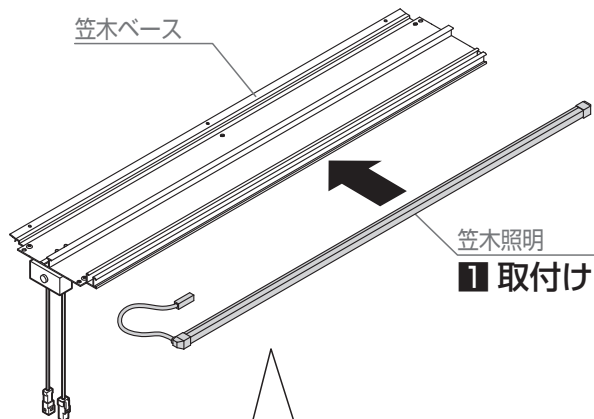
- 3面囲いタイプ、textoneタイプの場合、P29の手順に進む。
- ロングタイプの場合、P30の手順に進む。

##### (1) 標準タイプの場合

1: 笠木照明を笠木ベースに取付け

##### 施工上のお願い

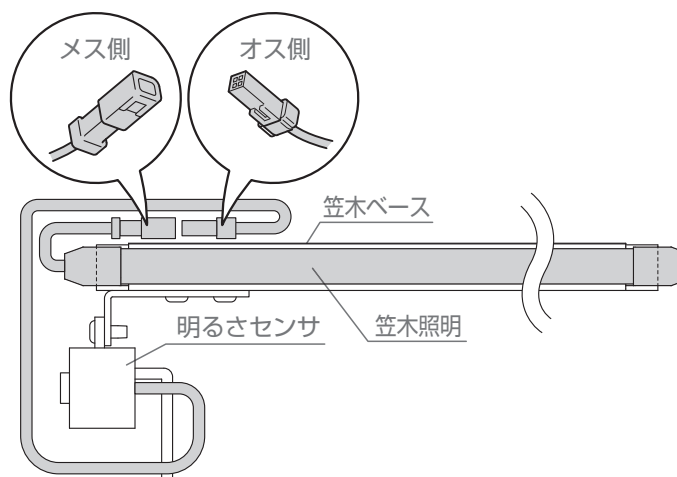
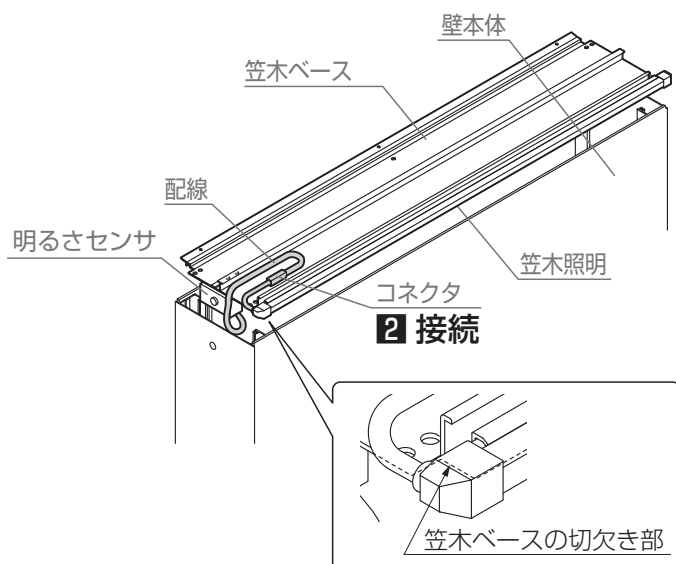
- シームレスラインライトは横方向に曲げないでください。
- シームレスラインライトは一方の端部から取付けてください。



2: 笠木照明と明るさセンサをコネクタ接続

##### 施工上のお願い

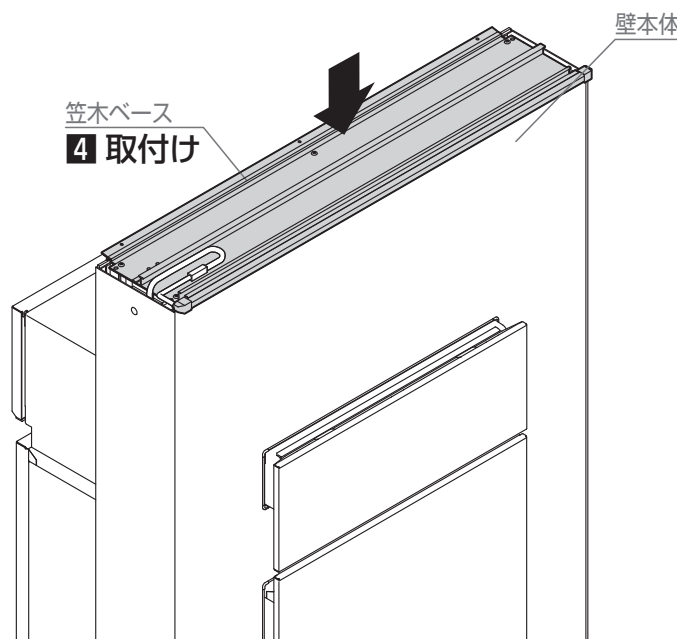
- 外部のトランス電源ユニットを使用している場合は、明るさセンサの代わりに、外部トランス電源ユニットのコネクタを接続してください。



4: 笠木ベースを壁本体に取付け

##### 施工上のお願い

- 笠木ベースの取付けは、**7 笠木・フレームの取付け** より **7-1 標準タイプの手順 1** を参照してください。



5: 笠木を笠木ベースに取付け

##### 施工上のお願い

- 笠木ベースの取付けは、**7 笠木・フレームの取付け** より **7-1 標準タイプの手順 2** を参照してください。

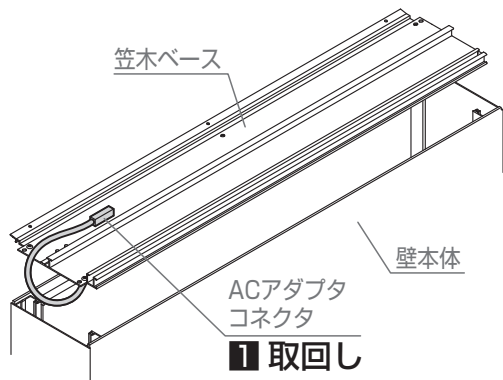
## 6 オプションの取付け

### 6-5 照明灯具の取付け

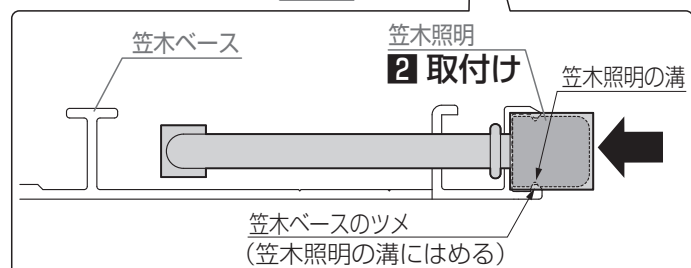
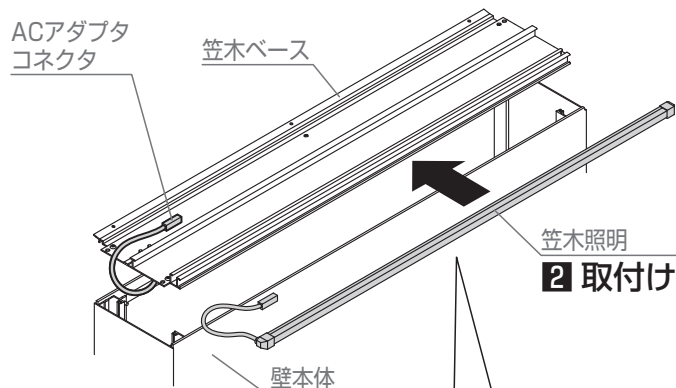
#### 6-5-2 笠木照明（シームレスラインライト）の取付け

##### (2) 3面囲い(木調)、textoneタイプの場合

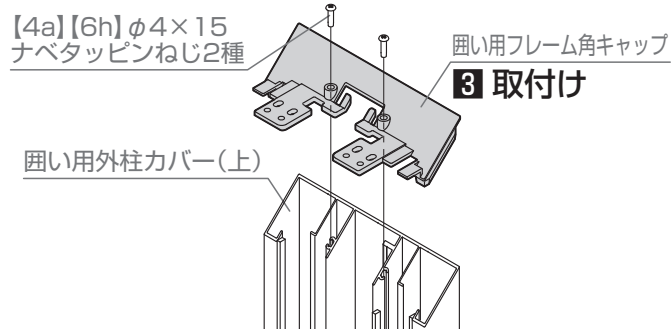
❶: ACアダプタのコネクタを壁本体内部から笠木ベース上に取り返し



❷: 笠木照明を笠木ベースに取付け



❸: 明るさセンサを取り付けていない囲い用外柱カバー(上)に囲い用フレーム角キャップを【4a】【6h】で取付け

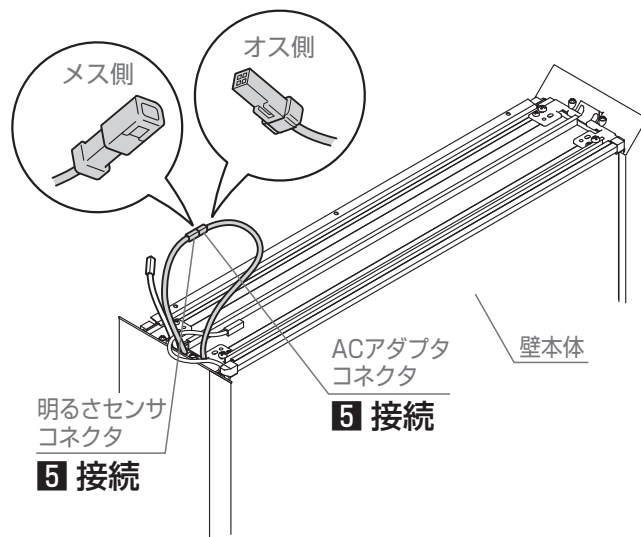


❹: 笠木ベース、囲い用外柱カバー(上)を本体に取付

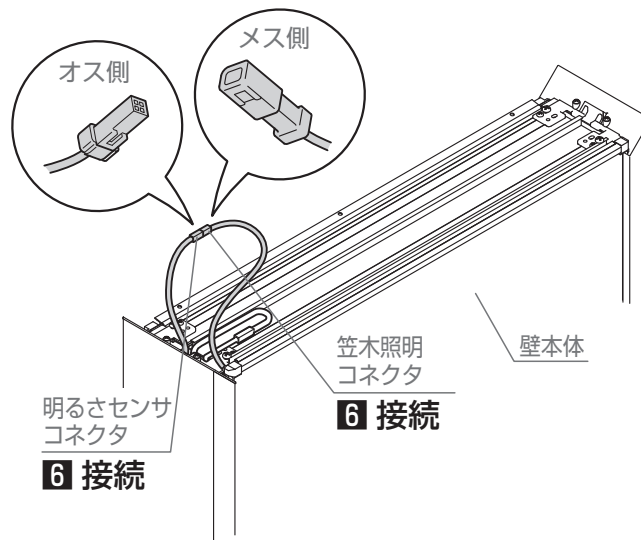
#### 施工上のお願

●笠木ベースの取付けは、**7 笠木・フレームの取付け**より**7-2 3面囲いタイプ、textoneタイプ**の手順**2、3、4**を参照してください。

❺: 明るさセンサとACアダプタをコネクタ接続



❻: 笠木照明と明るさセンサをコネクタ接続



#### 施工上のお願

●外部のトランス電源ユニットを使用している場合は、**5、6**を作業せずに、外部トランス電源ユニットのコネクタと笠木照明コネクタを接続してください。

❼: 囲い用笠木を笠木ベースに取付け

#### 施工上のお願

●囲い用笠木の取付けは、**7 笠木・フレームの取付け**より**7-2 3面囲いタイプ、textoneタイプ**の手順**5、6、7**を参照してください。

## 6 オプションの取付け

### 6-5 照明灯具の取付け

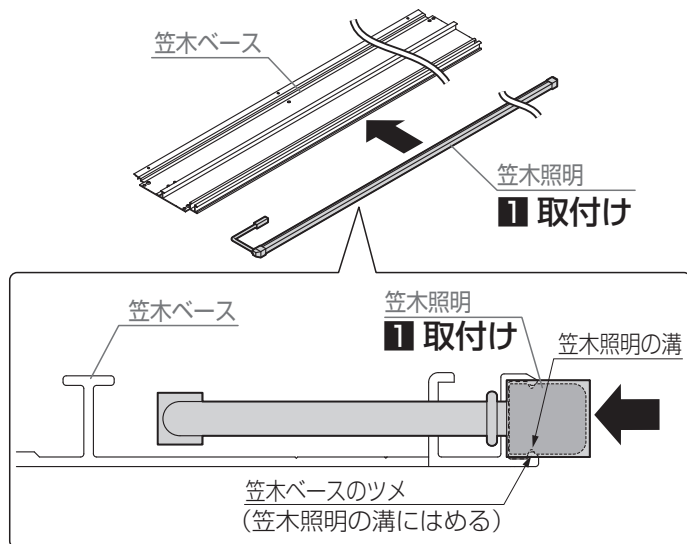
#### 6-5-2 笠木照明（シームレスラインライト）の取付け

つづき

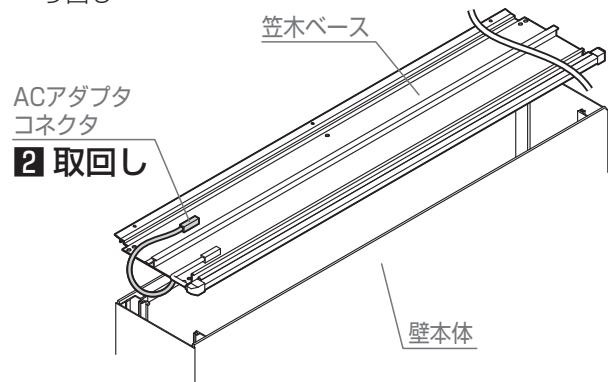
##### (3) ロングタイプの場合

※図は本体正面左側で配線している図ですが、右側で配線する場合は左右反転になります。

1: 笠木照明を笠木ベースに取付け

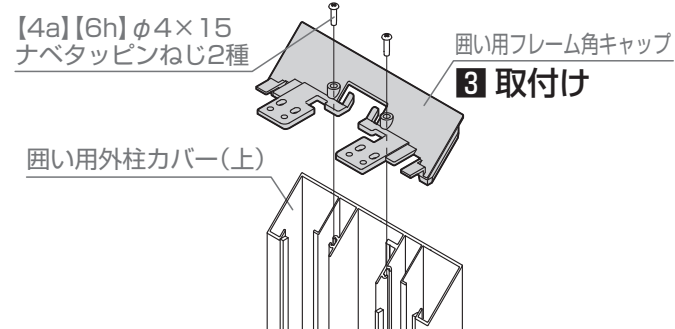


2: ACアダプタのコネクタを壁本体内部から笠木ベース上に取り回し



##### ▼ 外部トランス電源ユニットを使用している場合 ▼

3: 囲い用フレーム角キャップを囲い用外柱カバー(上)に【4a】【6h】で取付け

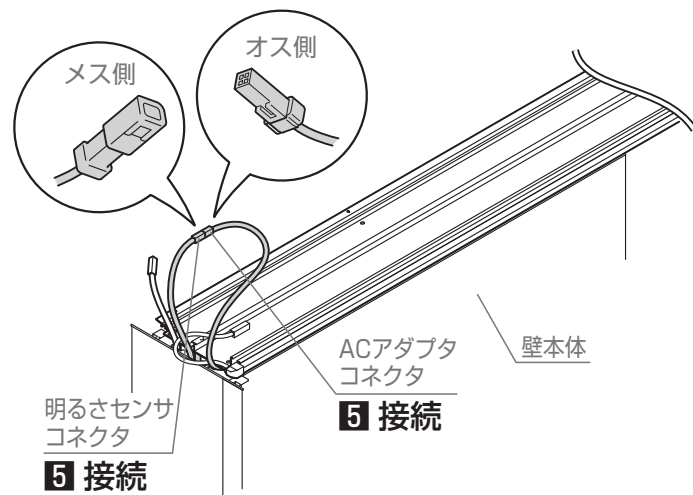


4: 笠木ベース、囲い用外柱カバー(上)を本体に取付

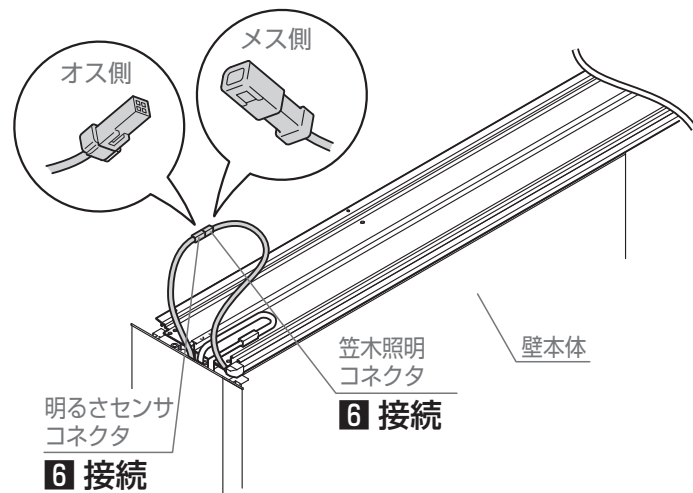
##### 施工上のお願

●笠木ベースの取付けは、**7 笠木・フレームの取付け**より**7-3 ロングタイプ**の手順**2、3、4**を参照してください。

5: 明るさセンサとACアダプタをコネクタ接続



6: 笠木照明と明るさセンサをコネクタ接続



##### 施工上のお願

●外部のトランス電源ユニットを使用している場合は、**5 6**を作業せずに、外部トランス電源ユニットのコネクタと笠木照明コネクタを接続してください。

7: 囲い用笠木を笠木ベースに取付け

##### 施工上のお願

●囲い用笠木の取付けは、**7 笠木・フレームの取付け**より**7-3 ロングタイプ**の手順**5、6、7**を参照してください。

# 7 笠木・フレームの取付け

## 7-1 標準タイプ

### 施工上のお願い

●各種オプション品を取付け後、笠木ベースを壁本体に取付けてください。

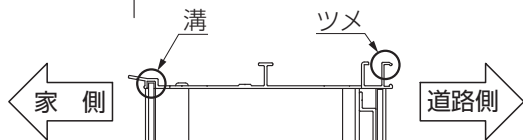
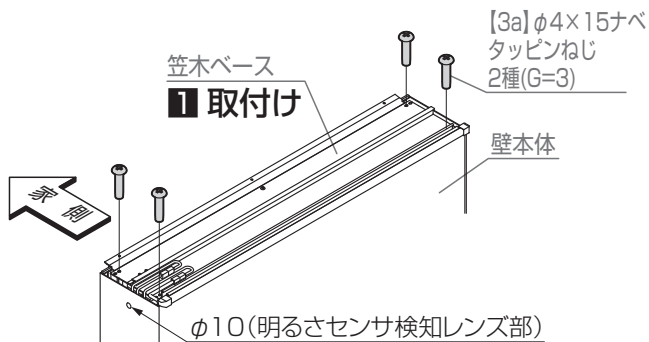
#### ▼ 明るさセンサを取付けている場合 ▼

●笠木ベースは明るさセンサのレンズ部を壁本体外柱のφ10穴に差し込みながら取付けてください。

1: 笠木ベースを壁本体に【3a】で取付け

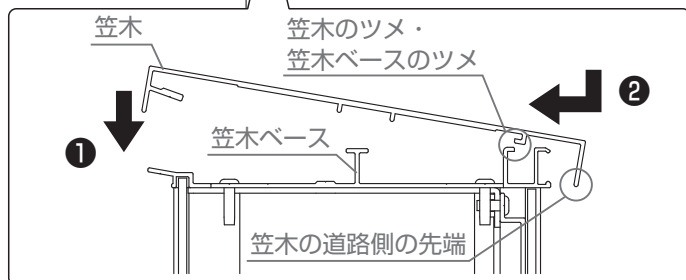
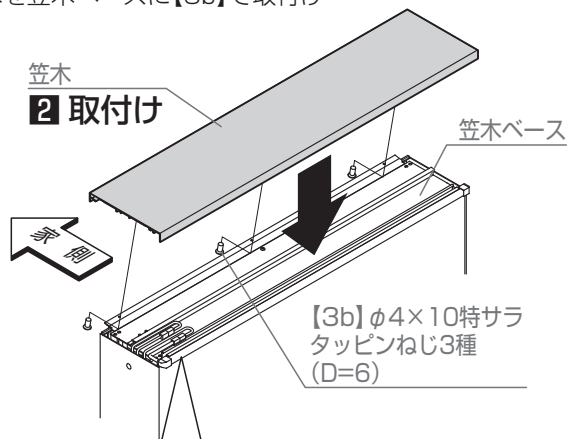
### 施工上のお願い

●取付ねじは外柱の中に落とさないように注意してください。落とした場合、取り出せなくなります。



※笠木ベースの溝と衣装面材上端(家側)がはまります。

2: 笠木を笠木ベースに【3b】で取付け



### 施工上のお願い

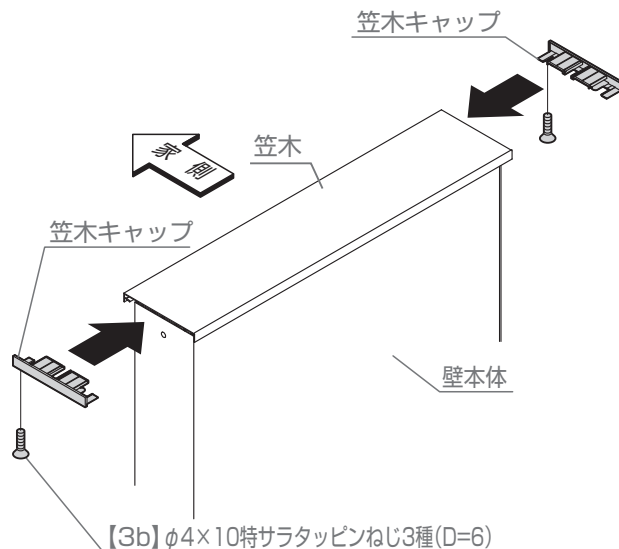
●笠木を笠木ベースに組付ける際は、形材で配線を挟まないようにしてください。

●笠木のツメが笠木ベースのツメに引っ掛かっているかを確認してからねじ止めしてください。引っ掛かっていない場合は、笠木の道路側の先端を押し上げると笠木が持ち上がります。

3: 笠木キャップを笠木に【3b】で固定

### 施工上のお願い

●家側のみねじを取付けてください。  
※ねじはねじ先が当たるまでしめてください。

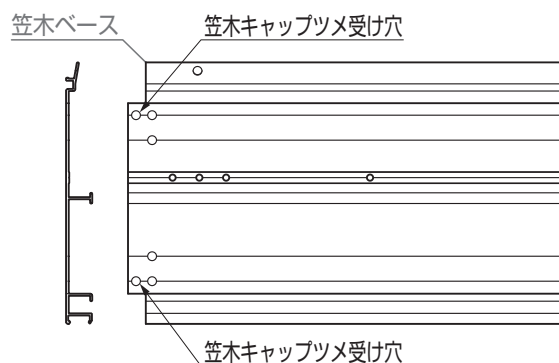
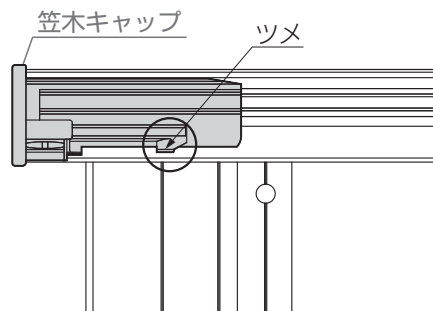
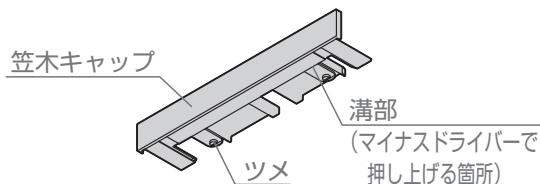


3 取付け

### 施工上のお願い

●笠木キャップは破損しないようにゆっくり押しはめ込んでください。笠木キャップのツメが笠木ベースの笠木キャップツメ受け穴にはまり固定されます。(右図参照)

●はまりにくい時は、下図の溝部をマイナスドライバー等で押し上げながらはめてください。





## 7 笠木・フレームの取付け

### 7-2 3面囲いタイプ(木調)、textoneタイプ

- 1: 囲い用フレーム角キャップを囲い用外柱カバー(上)に【4a】【6h】で固定

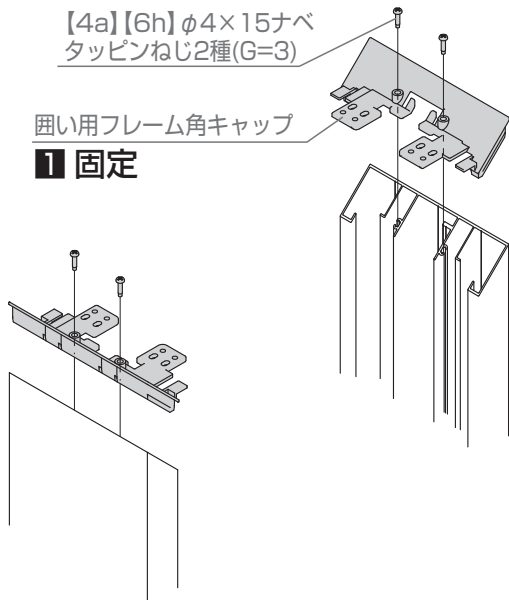
#### 施工上のお願

- 左右両方おこなってください。
- 笠木照明を取り付けた場合は既に終了している内容になります。

【4a】【6h】φ4×15ナベ  
タッピンねじ2種(G=3)

囲い用フレーム角キャップ

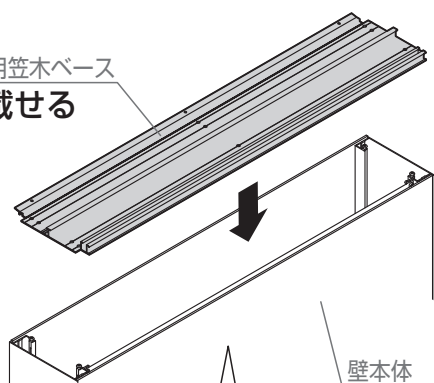
#### 1 固定



- 2: 囲い用笠木ベースを機能門柱本体の上の取付け位置に載せる

囲い用笠木ベース

#### 2 載せる



壁本体

溝

家側

道路側

※木調仕様の場合は笠木ベースの溝と衣装面材上端(家側)がはまります。

- 3: 左右の囲い用外柱カバー(上)を壁本体に組付け

#### 施工上のお願

- 明るさセンサが取付いている囲い用外柱カバー(上)は電源ケーブルが出ている側の外柱に組付けてください。
- 笠木照明を取付けている場合、笠木照明の端部が囲い用フレーム角キャップに引っかかるため一時的に笠木照明の両端を笠木ベースより外して作業を行なってください。その後、端部を笠木ベースにいらしてください。

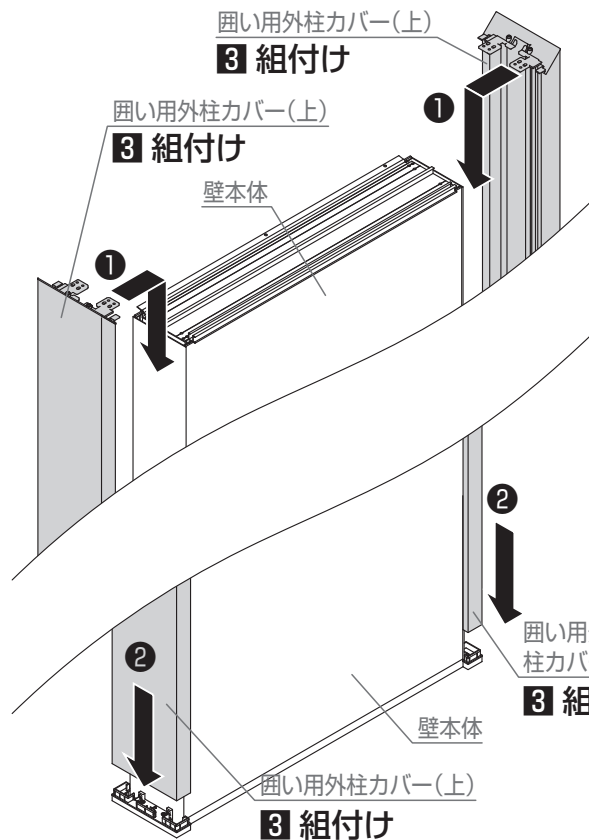
囲い用外柱カバー(上)

#### 3 組付け

囲い用外柱カバー(上)

#### 3 組付け

壁本体



囲い用外柱カバー(上)

#### 3 組付け

壁本体

囲い用外柱カバー(上)

#### 3 組付け

- 4: 囲い用笠木ベース、囲い用フレーム角キャップを壁本体に【4a】【6h】で共締め

#### 施工上のお願

- 取付ねじは外柱の中に落とさないように注意してください。落とした場合、取り出せなくなります。

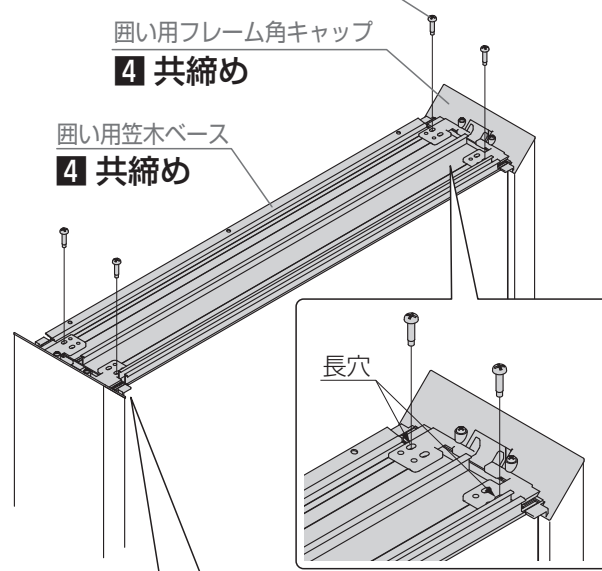
【4a】【6h】φ4×15ナベタッピンねじ2種(G=3)

囲い用フレーム角キャップ

#### 4 共締め

囲い用笠木ベース

#### 4 共締め

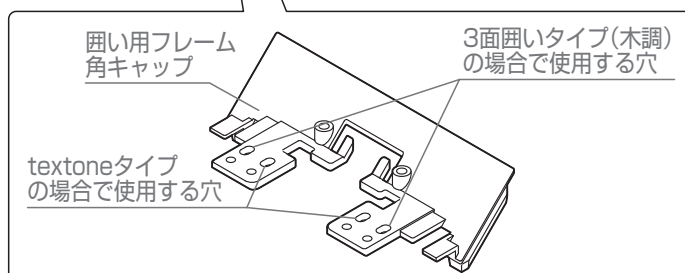


長穴

囲い用フレーム角キャップ

3面囲いタイプ(木調)の場合で使用する穴

textoneタイプの場合で使用する穴

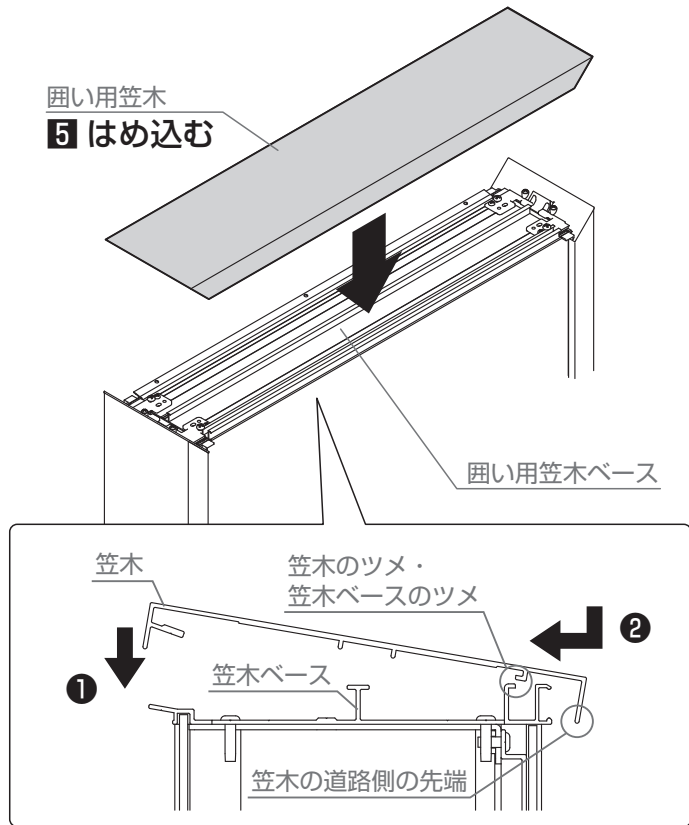




7-2 3面囲いタイプ(木調)、textoneタイプ

つづき

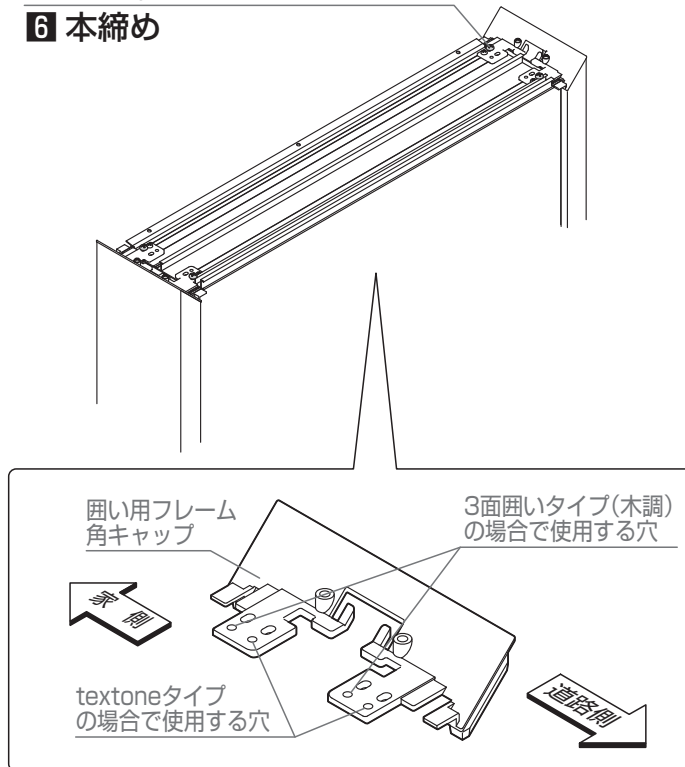
5: 囲い用笠木を囲い用笠木ベースにはめ込む



6: 5で調整をおこなったのち、5のねじを本締め、および【4c】【6i】で位置決め固定

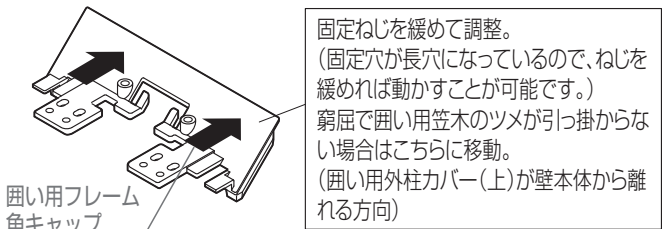
【4c】【6i】φ4×13ナベドリルねじ

6 本締め

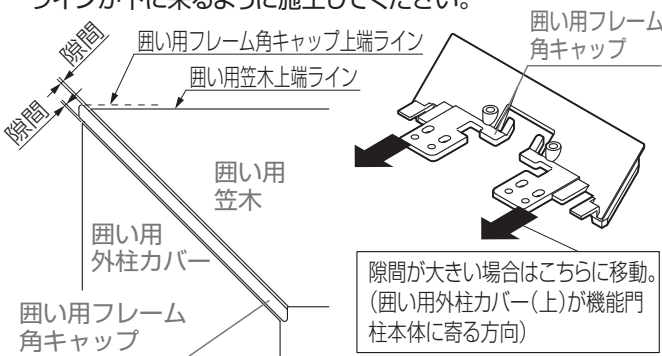


施工上のお願い

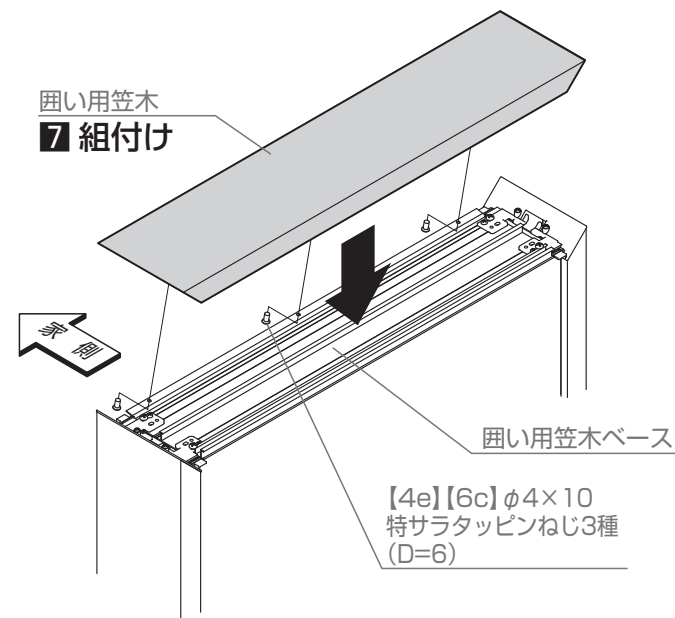
- 笠木を笠木ベースに組付ける際は、形材で配線を挟まないようにしてください。
- 笠木のツメが笠木ベースのツメに引っ掛かっているかを確認してからねじ止めしてください。引っ掛かっていない場合は、笠木の道路側の先端を押し上げると笠木が持ち上がります。
- 窮屈で囲い用笠木のツメが引っ掛からない場合は下記の調整をおこなってください。



- 囲い用笠木、囲い用フレーム角キャップ、囲い用外柱カバー各部材結合部の隙間が無いことを確認してください。隙間がある場合は0.5mm以内に納めてください。隙間が大きい場合は下記の調整をおこなってください。囲い用フレーム角キャップ上端ラインよりも囲い用笠木上端ラインが下に来るように施工してください。



7: 囲い用笠木を【4e】【6c】で組付け



## 7 笠木・フレームの取付け

### 7-3 ロングタイプ

- 1: 囲い用フレーム角キャップを囲い用外柱カバー(上)に【5b】で固定

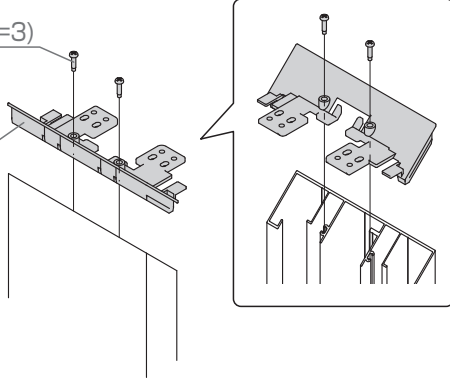
#### 施工上のお願い

- 明るさセンサを取り付けた場合は既に終了している内容になります。

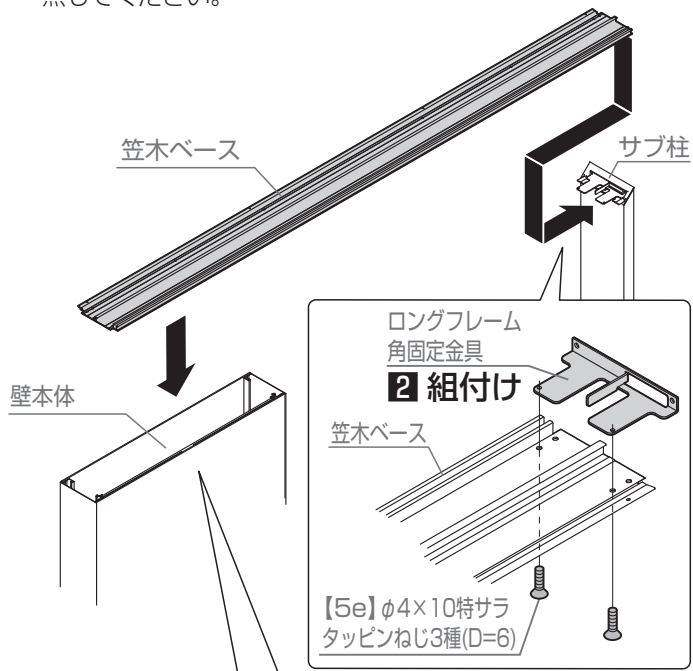
【5b】φ4×15ナベ  
タッピンねじ2種(G=3)

囲い用フレーム  
角キャップ

#### 1 固定



- 2: 笠木ベースを壁本体の上の取付け位置に載せ、サブ柱に組み付いているロングフレーム角固定金具に【5e】で組付け  
※ 笠木ベースとロングフレーム角固定金具の固定はP1710を参照してください。

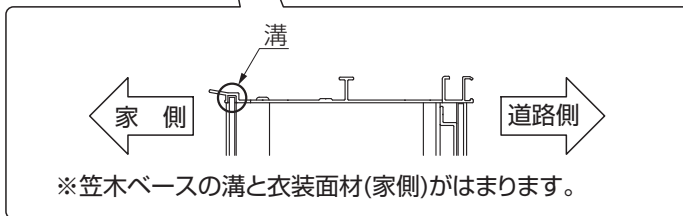


ロングフレーム  
角固定金具

#### 2 組付け

笠木ベース

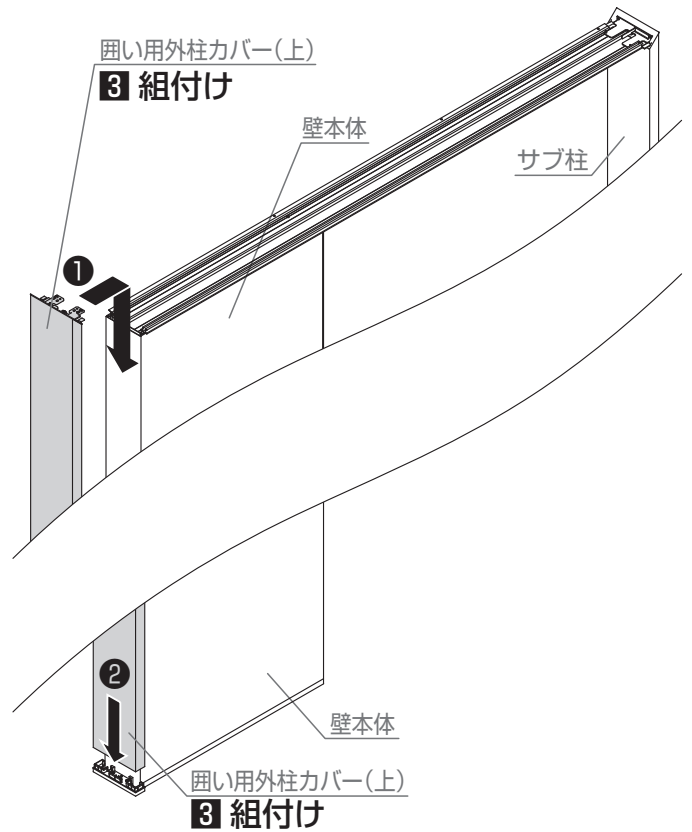
【5e】φ4×10特サラ  
タッピンねじ3種(D=6)



- 3: 囲い用外柱カバー(上)を壁本体に組付け

#### 施工上のお願い

- 明るさセンサが取付いている囲い用外柱カバー(上)は電源ケーブルが出ている側の外柱に組付けてください。
- 笠木照明を取付けている場合、笠木照明の端部が囲い用フレーム角キャップに引っかかるため一時的に笠木照明の両端を笠木ベースより外して作業を行なってください。その後、端部を笠木ベースにのせてください。



#### 3 組付け

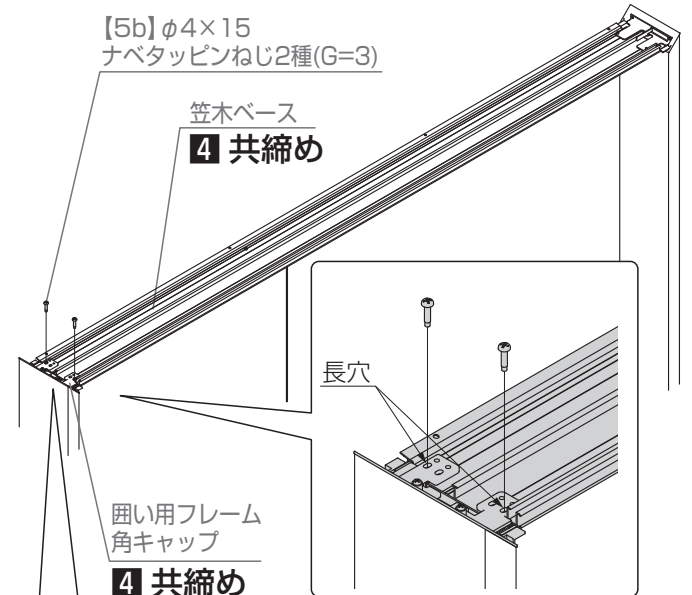
- 4: 囲い用笠木ベース、囲い用フレーム角キャップを壁本体に【5b】で共締め

#### 施工上のお願い

- 取付ねじは外柱の中に落とさないように注意してください。落とした場合、取り出せなくなります。

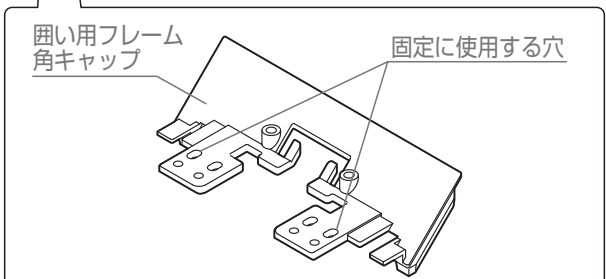
【5b】φ4×15  
ナベタッピンねじ2種(G=3)

#### 4 共締め



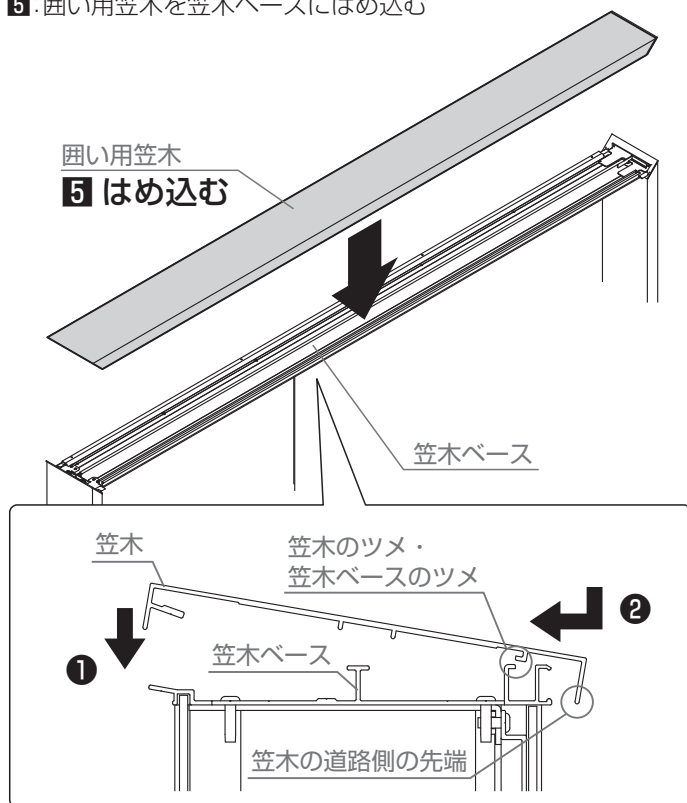
囲い用フレーム  
角キャップ

固定に使用する穴

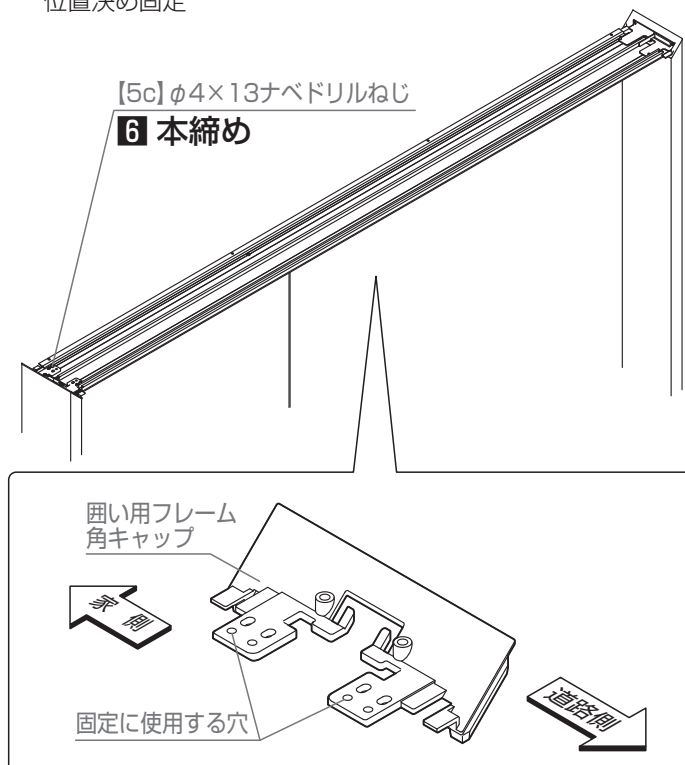


7-3 ロングタイプ

5: 囲い用笠木を笠木ベースにはめ込む

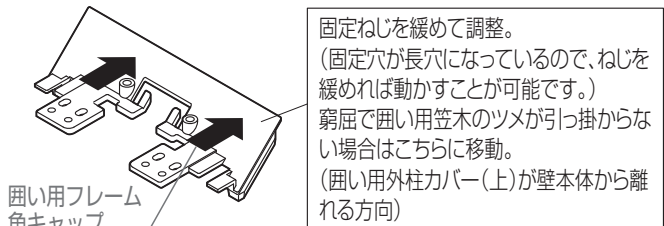


6: 5で調整をおこなったのち、5のねじを本締め、および【5c】で位置決め固定

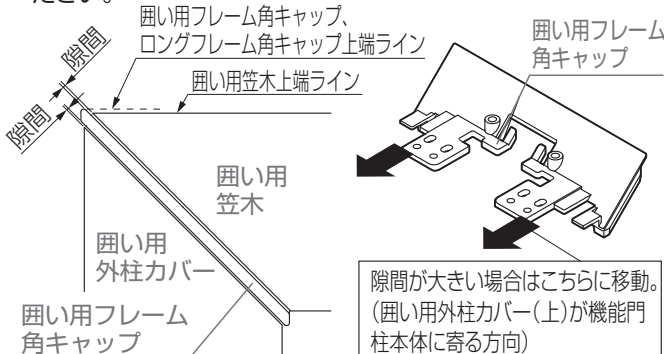


施工上のお願い

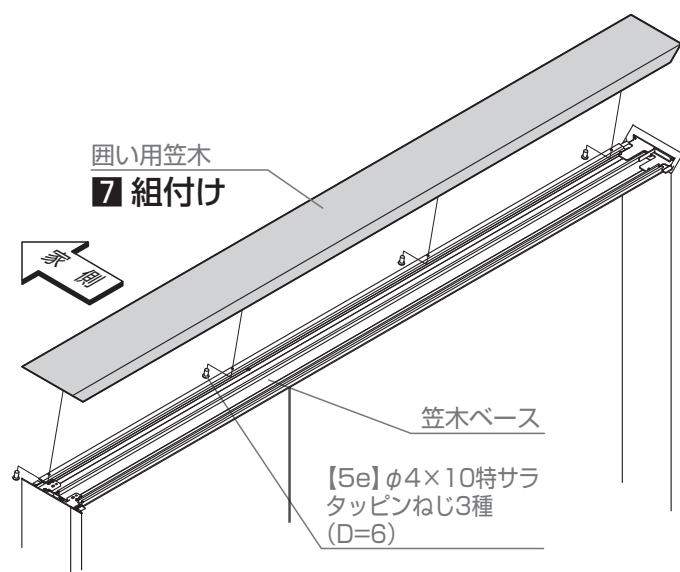
- 笠木を笠木ベースに組付ける際は、型材で配線を挟まないようにしてください。
- 笠木のツメが笠木ベースのツメに引っ掛かっているかを確認してからねじ止めしてください。引っ掛かっていない場合は、笠木の道路側の先端を押し上げると笠木が持ち上がります。
- 窮屈で囲い用笠木のツメが引っ掛からない場合は下記の調整をおこなってください。



- 囲い用笠木、囲い用フレーム角キャップ、ロングフレーム角キャップ、囲い用外柱カバー 各部材勘合部の隙間が無いことを確認してください。隙間がある場合は0.5mm以内に納めてください。隙間が大きい場合は下記の調整をおこなってください。
- 囲い用フレーム角キャップ、ロングフレーム角キャップ上端ライン
- 囲い用笠木上端ライン
- 囲い用フレーム角キャップ
- 隙間
- 隙間
- 囲い用笠木
- 囲い用外柱カバー
- 囲い用フレーム角キャップ



7: 囲い用笠木を【5e】で組付け



# 8 施工後の確認

チェック

## 埋め込みラインシールの確認

- ポスト、宅配ボックスの埋め込みラインシールをはがしてください。

チェック

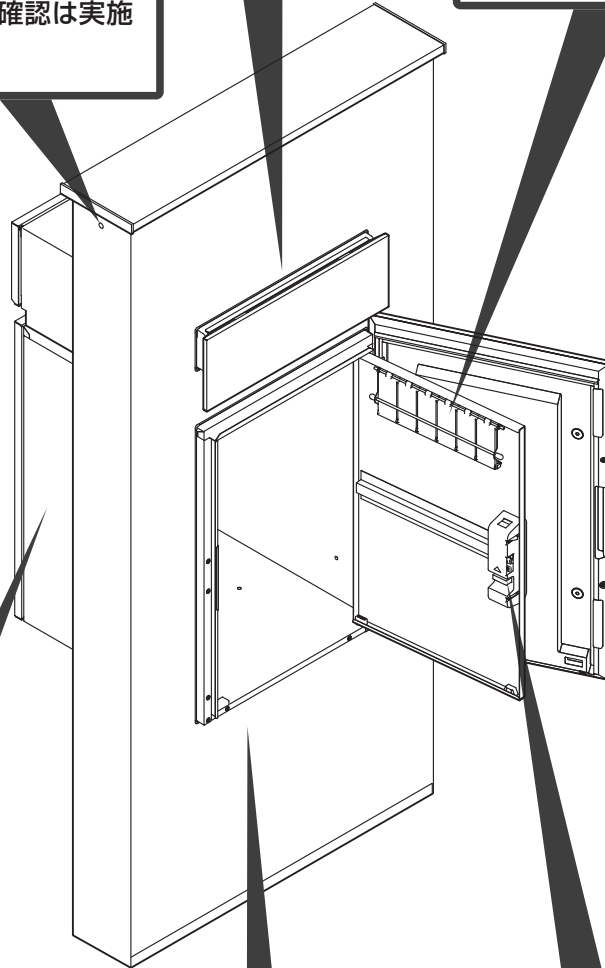
## 明るさセンサの点灯確認

- 各照明の点灯確認は実施しましたか？

チェック

## フラップの確認

- ストッパーの有無は確認してありますか？
- ストッパーを外している場合はストッパーは大切に保管し、お施主様へお渡しください。



チェック

## 垂直水平の確認

- 製品は垂直水平に沿って取付けられていますか？

チェック

## 錠の確認

- 内扉の錠は施錠状態になりますか？
- 内扉を施錠状態にして、後扉をシリンダー錠で開け、内扉が解錠状態になりますか？
- 内扉を施錠状態にして、内扉をシリンダー錠で開け、内扉が解錠状態になりますか？

チェック

## 外観の確認

- 製品にキズ、へコミ、歪みはありませんか？
- 切粉が筐体内外に残っていませんか？

取説コード

EXM-139

JZZ638939  
202401\_1049